紀藩遠藤通 救荒便覽續集 一卷ヲ著ハス
十月四日山本亡羊水戸侯ノ下問ニ對ヘ 土參考 一編及土參苗二百株ヲ呈上ス
清醫程赤城、王世吉長崎ニ來ル依テ草木寫生帖ヲ示シ草類百九十四種木類百六十八種ノ漢名ヲ鑑定セシム
阿部櫟齋 草木育種後編 二卷ヲ作ル
宇田川榕庵 舍密開宗 二十一卷ヲ著ハシ始メテ化學ヲ唱フ
福嶋貞雄著 贍民錄 刻成ル（半紙本、十丁）
佐藤信淵三州田原城主三宅侯ノ請ニ因リ其封内ヲ巡回シ耕種法ヲ講明シ 田畯年中行事 二卷ヲ著ハス
越後枕雲洞主人著 救荒孫之杖 上下二卷刻成ル（半紙本、三十四丁）
薩藩主祖考ノ遺志ヲ繼キ曾愿ニ命シ 質問本草 ヲ校訂シ之ヲ上木ス
坂本純澤 隨觀寫眞 十四卷ヲ作ル
長澤衞門源伴雄 四季草 一卷ヲ作ル
尾張伊藤圭介口授門人西尾泰二松崎寛一筆記ノ 救荒食物便覽 ノ一枚摺刻成ル
栗本丹洲ノ遺稿 皇和魚譜 二卷刻成ル（美濃紙、四十一丁、圖入）

佐藤信淵土方氏ノ需ニ應シ伊豆駿河三河等ノ產物土性ヲ巡察ス
木曹林方岩田誠中 御林方尺〆仕出 ヲ著ハシ林木尺〆算法ノ捷徑ヲ述フ
伊藤圭介木曾及戸隱山中ニ入リ採藥ス
大村成富 珍錢圖錄 一卷ヲ作ル
四月尾張海東郡諸桑村滿城寺ノ背後ノ小川ヨリ樟ノ丸木船ヲ掘出ス船中古陶ノ破片古錢其他古器多ク出ツ
富山侯前田利保 秦皮圖說 一卷ヲ作ル
山本亡羊 百品考 初篇二冊ヲ刻ス（美濃版、八十丁）
正月二十二日大阪池田いろは亭ニ於テ種樹家大友、糺七、鷹半等會主トナリ錦蘭品評會ヲ開キ出品目錄ノ一枚摺ヲ印行ス
四月岩崎常正 本草圖譜 毒草部四冊ヲ幕府ニ獻ス
閏四月十二日岩崎常正病氣ニ付隱居ヲ請願シ七月二十七日聽許セラル
九月五日東都千駄木花戸帆兮亭六三郎花ノ谷卯兵衞會主トナリ錦蘭ノ奇品百十一鉢ヲ陳列シ之ヲ品評審査シ 錦蘭相撲見立 ノ一枚摺ヲ印刷シテ同好ニ頒ツ
十一月二十一日紀州和歌山醫學館ニ產物會ヲ開キ山海ノ庶品ヲ陳列ス主品名物四百四十一種客品名物一百十八種總計五百五十九種ニ及フ（小原氏物產公勤錄）

西暦 一八三八

九月二十五日淺香直光（青洲）田丸寒泉、佐橋節翁、飯室樂圃等相會シテ升麻ノ品類三十三種ヲ品評記載シテ［升麻圖說］一卷ヲ作ル

十一月二十八日浪華北久寶寺町福屋席ニ於テ植木屋大吉、三木屋音吉、植木屋善兵衛等會主トナリ天鵞絨蘭及錦蘭ノ奇品會ヲ開キ出品目錄ノ一枚摺ヲ出版ス

十二月京都川端丸太町植木屋音吉會主トナリ加茂川丸太橋勇樂亭ニ於テ天鵞絨蘭及錦蘭ノ奇品會ヲ開キ其出品目錄ノ一枚摺ヲ出版ス

鈴木暘谷ノ門人松本守雌天谿［繕生堂藥疏］上下二卷ヲ撰シ日用藥品六十一種ニツキ攷徵、撰眞、辨疑、辨正ノ數項ニ分チテ解說ス

江馬蘭齋歿ス年九十二

蘭舶食火鷄ヲ載來リ觀物トス（百品考後篇）

戊戌	十

四月小野蘭山翁ノ［秘傳花鏡講義］ヲ筆記シ［秘傳花鏡彙解］四卷トナス

八月岩崎常正［本草圖譜］薑草部上四冊十二月ニ同下四冊ヲ幕府ニ獻ス

九月增島蘭畹歿ス年七十一歲淺草下谷乘滿寺ニ葬ル著ハス所［菌史］十四卷

［鴆史］一卷等アリ

佐藤信淵伊豫宇和島ノ城主伊達侯ノ請ニ應シ［責難錄］二卷［種樹園法］三卷ヲ作ル

己亥	十一

紀伊畔田翠嶽［水族志］十卷ヲ著ハシ魚類七百餘種ヲ解說ス

岡村彝憲奈須信德等岡村尙謙ノ遺稿［本草古義拾遺］ヲ輯錄シテ二卷トナシ以テ世ニ傳フ

小石川官園中ニ尋常ノ糸瓜ヨリ圓葉糸瓜（マルバ）ヲ變生ス其葉圓クシテ蓼蒨ノ如ク花ハ尋常ノヘちまト同シ

宇田川榕庵ノ［舍密開宗］刻成ル

六月岩崎常正［本草圖譜］水草部上下二冊石草部上下二冊都合四冊十一月石草部二冊雜草部一冊穀草一冊都合四冊ヲ幕府ニ獻ス

京都ノ醫家內藤尙賢［古方藥品考］五卷ヲ著ハシ傷寒金匱要略ノ二書ニ出ツル所ノ藥品二百餘種ノ圖說ヲ作ル

土佐人宮地簡［農家須知］二卷ヲ上木ス

加來睦之［油布嶽採藥記］ヲ作リ山頂山腹山麓ノ草木ヲ圖說ス

九月二十六日萬香亭（前田利保資生圃（馬場大助）四季園（佐橋節翁）樂圃（飯室昌栩）武藏石壽、淸雅（姓不詳）等相會シテ油點草及蟋蟀射工ノ品類ヲ品評撰定シ寫手關根雲停ヲシテ之ヲ寫眞セシメ［ホトトギス圖說］［蟋蟀射工圖］說ノ二書トナシ以テ世ニ傳フ其品種左ノ如シ

西暦 一八四一　辛丑　十三

四月岩崎常正本草圖譜穀草部四冊、八月菜部四冊、十一月菜部四冊ヲ幕府ニ獻ス

富山侯前田利保啓蒙蟲譜圖解一卷ヲ作ル

穗井田忠友觀古雜帖初篇一卷ヲ刊行ス

五月十八日屋代弘賢歿ス年八十六或云六十二著ハス所古今要覽稿四百餘冊アリ部門ヲ十八ニ分チ草木部百八十七卷、禽獸部四十二卷、菜蔬部十三卷、蟲介部十三卷、龍魚部七卷ハ動植物ヲ記載セリ（名川白満の妻 伽子 孝子 著に）

十月江戸金龍山中歌心莚主西村藐庵三十六歌仙貝合畫譜一卷ヲ著ハシ色刷ノ版本トナシテ發行ス

蘭舶含羞草ヲ輸入ス（桃洞遺筆）

瑞西チユウリッヒ市附近クウルッナハノ人 H. Zollinger 氏同國ゲンフ市ニ往キ氏ト A. Decandoll ニ師事シ同氏ノ勸誘ニ從ヒ本年秋和蘭船ニ搭シテ瓜哇ニ航シ嘉永元年七月ニ至ル迄同地ニ居住シ植物三千六百〇五種ヲ採集スルノ間同地ボイテンツヲルグ植物園所藏日本植物腊葉ノ不用品六百四十一種ヲ整理シ之レガ目錄ヲ編集ス

正月二十九日岩崎常正病歿ス年五十七下谷永見寺ニ葬ル

四月岩崎氏本草圖譜菜部八冊、九月果部四冊、十二月十日果部四冊ヲ獻ス

庚子　十二

正月千葉直胤宇久比須考上下二卷（美濃版、圖入、六十丁）

武州大宮山ホトトギス　武州大宮大葉山ホトトギス　竝ホトトギス

枝ウチホトトギス　相州笹葉ホトトギス　下總立ホトトギス

東高野山ホトトギス　大島ホトトギス　紫ホトトギス

尾州異花ホトトギス　日光ホトトギス　黃ホトトギス

矮生キホトトギス　富山ホトトギス　白花ホトトギス

（以上ホトトギス草）

カブトムシ　アカカブトムシ　サイカシムシ

ヂムシ　小カブトムシ　小サイカシムシ

ノコギリムシ　クハガタ　ヒメクワガタ

コブムシ　大コブムシ雌雄　クロコガネムシ

大チヤイロコガネムシ　クソコキブイブイ　マメハンメウ二種

コマメ　クロマメ　大名ムシ

クヽリマメ　カキコガネムシ　モチブイバラ

天社蟲（一種淡黑色ノモノ一種斑身ノモノ一種黑色ノモノ一種玉ムシ天社）　龍虱　蜉蝣

クロアブラムシ（一種黑綠色ノモノ一種黃脚ノモノ一種黑色ノモノ一種小黃アシノモノ）

（以上鯰鯽射工）

壬寅

十四

救荒本草啓蒙 十四卷 救荒野譜啓蒙 一卷刻成ル小野職孝口授シ男彥安筆錄ス

尾張水谷義三郎木曾ニ採藥ス

幕府二宮尊德ヲ徵シテ俸ヲ給シ始メテ吏籍ニ入ル

今年一品準后法親王舜仁京師ニ朝覲ノ時陪從ノ醫師小島質仁和寺寶庫所藏新修本草 殘欠第十三、第十四、第十八、第二十ノ四卷ヲ傳錄シテ東部ニ歸ル

龜田鵬齋 候鯖一臠 五卷ヲ著ハシ天地、人物、器財、物產ノ四部ニ分チ和漢ノ名稱ヲ對譯ス

阿部櫟齋奧ノ岩城ニ採藥ス（隱居放言）

梅枝軒來鶯 俳諧四季圖考 二卷ヲ上木ス（半紙本、圖入、百二十五丁）

蘭舶天竺牡丹ヲ將來ス（博物雜誌）

貝原益軒ノ 和字解 三版刻成ル

佐藤成裕水戶侯ノ命ヲ奉シ 七十二候新撰 一卷ヲ作ル

西仙二柱考 刻成ル阿波國花垣幸國ガ播磨國多可郡西仙寺ナル躑躅、萩ノ二大柱ノ由來ヲ考證セルモノナリ（半紙本、十一丁）

黑田老侯眼疾アリ江馬元益ヲ召シ之ヲ診セシメ且質スニ本草物產ノ事ヲ以

癸卯

弘化元

西曆

一八四四

テス（活堂傳）

七月富山侯江馬元益ヲ召見シ物產ヲ論セシム（活堂傳）

蘭舶「モルモット」及和蘭海芋ノ生本ヲ輸入ス（十品考、百品考後篇）

和蘭學士 Dozy 及 Molkenboer ノ兩氏印度群島及日本產苔蘚類ノ新種若干ヲ記載シ「アンナアル、ド、シアンスナチュレエル」ニ投寄ス

九月 東都岩檜葉名寄取組 番付刻成、種品五十四種ヲ列擧ス

手塚敬義 農家心得種 一卷ヲ上木ス

五月六日坂本浩然兩國相生町三丁目ノ家ヲ發シ筑波山ニ往キ採藥紀行ヲ作ル

七月五日幕府大垣藩醫江馬元益ニ命シテ本草ヲ醫學ニ講セシム同年十二月銀五枚ヲ賜ヒ其勞ヲ慰ス

馬場仲達（大助） 舶上花譜 ヲ著ハシ舶來植物ヲ圖說ス其品類左ノ如シ

ラノンケル（天竺牡丹）　含羞草　蔓絲（タウワタ）

ヲキサリス　胡椒　萆茇

ハルシヤギク　イリモテラン　セリヤアン

ビデンス　カヽヤンバラ　ヲランダスイセン

ガブヂコリス（スイセンアヤメ）　番欝金　ノウゼンハレン

オランダヒルガホ（メコアカシ）アナナス　リベスリユブラム
カヽヤンナツメ　金鳳　金合歡
巴豆　龍眼　荔枝（来註ハ編者ノ加筆ニカヽル）
玩珂翁武藏石壽 貝八譜 十五卷ヲ著ハシ貝殻ノ品類ヲ圖說ス其所載ノ貝品ノ大概ヲ擧クレハ蛤蚌類百四十二種、圓蛤類八十三種、眞珠帆立類四十六種蟶蠣類六十五種、拳螺刺螺類百三十二種、圓螺百二種、細螺類百四十七種、筝、芋、片卷類九十六種、寶貝類四十七種、無對類五十七種、異形類三十九種、支流類八十種、海燕類十五種、粘着類若干種アリ其圖ハ寫生ノ名手服部雪齋ノ描ク所ニシテ精巧無比解說亦該博ニシテ實ニ本邦貝類諸譜中空前ノ大著ナリ
平安梯南洋小野蘭山ノ本草綱目啓蒙ノ刻版烏有トナリシヲ慨シ之ヲ增補重刻シテ 重修本草綱目啓蒙 ト名ケテ公行ス
廣益國產考 八卷及 除蝗錄後篇 一卷刻成ル共ニ濱松藩大藏永常ノ所著ナリ時年七十七歲ナリ
羽倉外記 饌書 一卷ヲ作ル
魯西亞人 Wosnenssenski ウルツプ島ニ上陸シ植物ヲ採集ス
畔田翠山 紫藤園攷證 二卷ヲ作ル

長崎野田靑霞淸舶所齎ノ貨物中ヨリ蔓生相思子ノ種子ヲ檢出シテ之ヲ下種シ其生本ヲ得テ之ヲ圖說ス（拾品考）
蘭舶「アナヽス」ノ生本ヲ崎陽ニ輸入ス
幕府旗下ノ士松平定朝ノ 花菖培養說 初稿成ル
幕府旗下ノ士御納戸組頭花隱老人（島織部名ハ仙）野生草品百種ヲ圖說シ 隨地所生草品圖說 四卷トナス時ニ年六十六
尾藩賀島近信平安高井正芳同集 異國草木會目錄 刻成ル 其序ニ云「弘化乙巳六月二十五日異域草木ヲ都下（京都）ノ醫學院ニ會ス數二百ヲ限リ總テ盆栽ヲ用ユ異卉殊草何啻之ニ止ラン 其缺漏ノ若キハ佗日ノ再會ヲ待ツト云フ」此日陳列ノ草木ノ品目及出品者ノ氏名左ノ如シ

醋甲　琉球產、文化中舶來　崇蘭館　福井氏
杜仲　漢產、享保中舶來　千之堂　伊良子氏
紫檀　同上　同
キリイチー　琉種、卽シロツア　同
橄欖　琉種　同
人蔘　朝鮮種、享保中舶來　醫聖書院　高階氏
烏臼　漢種　同
同　同

金絲桃　琉種
クワラン　琉種、白花
海　芋　漢種
ガツマル　同、榕ノ一種
番石榴　琉種
ハナタチバナ　同
トクサラン　同
シカウラン
番鬱金　和蘭産、天保中來
蚊母草　蘭種、天保中
老鎗菜　同種
ヲランダヒルガホ　同
イノント　同
フランスシェユール　同
サルテリン　同
ヘルトルセリテレイ　同
天南星　蝦夷種

學圃堂　渡邊氏
同
讀書室　山本氏
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

墨　葵　同
蘄　艾　漢種
御黃李　同
百　部　同、享保中
曼陀羅華　朝鮮種
紗　欅　琉産
イソマツ　同
ナゴラン　同
觀音竹　琉産
月下香　蘭産
省　藤　琉産
ボスメン一名ヒツキ、蘭産、弘化元年來

以上三十六品

漢種五十四品

羌　活　以下二十二品、享保中舶來
知　母
蒼　朮

同　觀生堂　水野氏
同　陽春窩　麻田氏
同
同
同
同
同
同
同
同
同
伊丹劒菱　坂上氏
同

防　風
防　己
白　朮

白斂
破胡紙
江南大青
百部　蔓生
黄精
桂
山茱萸
楓
土三七　慶長十六年舶來
金絲梅　同
玉斂蘭　同
嘉慶李　同
潭蘭　天保十四年
麥門冬
土茯苓
薏苡

白鮮
草決明
浙江大青
使君子
沙參
酸棗
牡荆
楓ノ一種　稱ヨツヤト者
木香花　寶暦中來
素心蘭　文政中
紫蘭　同
報歲蘭　天保ノ初
川楝　天保中
大黄錦紋
細辛
茴香
劉寄奴

覆盆子
蔗　西湖種
淫羊藿
枳殻
枸杞
胡桃
醉芙蓉

朝鮮種九品

北五味子　享保中傳
牛扁　同、稱朝鮮種秦艽者
紅蓮
玉簪花　圓葉粉白色者
安石榴　享保九年、ナンキンジヤクロ

琉球種五十六品

蓬莪茂　享保中
土茯苓　圓葉
高良薑ノ一種　クマタケラン

同　南京種
草綿　華葉保三年者
何首烏
皂莢
楮
均亭李
欝金

黄芩　同
滁州夏枯草
錦荍支
海松

薑黄　同
同　竹葉
草蘆薈

西曆
一八四五

半夏ノ一種

甘蕉 享保中
美人蕉 天和貞享ノ比
三白草 天保中
望江南
ハクラン
キンケイラン 天和貞享ノ比
チクケイラン
小石積
石刁栢 同
金粟蘭 正保中
同一種 セツクワト呼モノ
キンゴジクワ
ハシカン 文化中
曇華
佛手柑
蒲葵

甘蔗
芭蕉
鳳尾蕉
紫金牛 天保ノ初茉公ノ別墅ニテヘゴヨリ生ズ
鳳蘭
コクラン
シキンラン 文化十三年來
番繡球
茯苓菜 文政中
朱蕉 寛政中
仙人掌 正保中
夜落金錢
丁香茄 寶暦中
日々有
巴豆 天保中
蒲桃
栴

西暦 一八四五

椶竹 正保中
素馨 文化中
扶桑花
金木蘭 卽黄ノ扶桑花 同
ボンデンクワ
賣子木
龍骨木
榕樹

蝦夷種六品

地楡
威靈仙
モミヂ

和蘭種四十二品

諸葛菜 寛永正德 比
鳳仙 天和貞享ノ比
アンジヤベル 寛文中
苦薏

茉莉 寶暦中
夾竹桃 寛政中
同 牡丹咲 同
鶴頂 卽扶桑ノ矢倉咲 同
野牡丹
木豆 文政中
コヲリンクワ 文化中
顋桐 延寶中

茉荳
白蒿
ライニ デロト呼モノ

火焰菜
同 白花
スイゼンジナ 寶暦己卯來
メンテ 天保中 卽薄荷

マンル　卽迷迭香　ヘンルーダ　卽芸香
レノンクル　天保中　卽草零陵香　蛇苺　同
ブラシリセベイヘル　同　黒タウガラシニコチヤナ　同　烟草一種
含羞草　同ミモサ又コロイジール、メイニート　ドルレケンプル　同　鬼鍼草
羅勒　狆耳草　大葉馬歯莧
蕃柿　以下十五品　天保中　老鎗穀　文化丙子來
ユウリハ　テールコンチヨロ
アリウム　カリース
テンシボタン　ヲギサーリスローサ
キンサンシコン　レリイナルキス
アルマグモクト　カミルレ
大寒菊　ヒヤシンド
フラトバツトス　ビンプルネルレ
スコロスネルヲルト　カナリサート
長春一種　天保中　カバヤンバラ　天保中
ヒツトリモス　同
通計二百品

加來睦之日州延岡侯ノ聘ニ應シ高千穂山ニ採藥ス
十二月獨逸植物學士 Zuccarini氏日本産植物百五十種ヲ鑑定記述シバイエルン王立植物學會ニ呈出ス
瑞西ノ人 (Zollinger) 氏日本産植物腊葉七十一種ヲ瑞西國ゲンフ博物館ニ寄贈ス

乙巳　三
二月二日水野廣業歿ス年七十
六月二十二日宇田川榕庵江都鍛冶橋ノ邸ニ歿ス年四十九
江戸神田煙草商三河屋彌平次「狂歌煙草百首」ヲ刻ス書中煙草ノ來歴、産地等ニモ論及セリ（美濃版、圖入、三十二丁）

西曆一八四六　丙午　四
菅井菊叟「菊花壇養種」一卷ヲ作ル（四六版、圖入、三十五丁）
幕府二宮尊德ニ命シ日光廟社ノ祭田ノ荒蕪ヲ理メシム
和泉堺安達喜之「金魚そだて草」再刻ナル
蘭舶大葉旃那生本ヲ輸入ス（拾品考）
獨逸エッスリンゲンノ人ドクトル Steudel 和蘭國製藥家 F. Gering氏採集スル所ノ日本産禾本科及莎草科ノ植物三百餘種ヲ列擧シ十六種ノ新種ヲ記載ス（一月十四日出版フロラ）
泉州岸和田侯小野蘭山ノ本草綱目啓蒙ノ刻本乏シキヲ患ヘ侍醫井口望之ヲ

シテ訂正セシメ濫費ヲ以テ之ヲ刻ス 重訂本草綱目啓蒙 是ナリ

三月二十六日畔田翠山生石山ニ採藥ス

山本亡羊ノ著 百品考二編 二卷刻成ル(美濃版、圖入、七十三丁)

田丸寒水、飯室樂圃、佐橋節翁、島花隱等相會シテ柿ノ種類ヲ品評シ 柿品 一卷ヲ作ル

大阪中山雄平 剪花翁傳 五卷ヲ作リ瓶花ニ供スヘキ植物ノ形狀培養法ヲ記述ス

柏京信好 舶來玩禽一覽 ヲ作ル

丁未 嘉永元

Dr. Mohnike 來朝シ五年歸國ス

三月十五日伊藤圭介藥品會ヲ修養堂ニ開ク

六月六日佐藤中陵水戸ニ歿ス年八十七

頃歳富山侯前田利保家臣ヲ江戸近郊ノ諸地ニ遣ハシ植物ヲ採集セシメ 信筆鳩識 ヲ作ル

山本世孺著 懷中食性 刻成ル

森立之五月江戸ニ來リ十月幕府ノ命ヲ奉シテ千金方ヲ醫學館ニ講ス

洋舶丁香、肉豆蔻、檳榔、肉桂、椰子、菫麥等ノ生本ヲ長崎ニ輸入ス(拾品考)

栗本鋤雲二十七歳入リテ幕府醫官栗本氏ヲ嗣キ醫學ヲ多紀樂眞院ニ本草學

ヲ曲直瀬養安院ニ受ク

岡村尚謙ノ遺著 桂園橘譜 成ル

戊申 二 西暦一八四九

天保八年四月青苔園主人著ハス所ノ海川諸魚掌中市鑒ヲ改題シ且卷端ノ序言符牒等七丁ヲ省キテ 魚貝能毒品物圖考 ト名ケテ出版ス

下野人輿野隆雄 太山能散遲 一卷ヲ作リ杉及檜柏ノ下種栽培法ヲ詳說ス

鼓眼堂山人 鶯飼樣口傳書 二卷ヲ作ル

山本亡羊ノ大著 格知類篇 成ル此書ノ成ルハ稻生若水ノ庶物類纂ノ徒ニ官府ニ秘藏セラレ世間ニ流布セサルヲ慨シ其代用ニ供センカ爲ニ作ル所ニシテ文化二年ヨリ着手シ本年ニ至リ四十五年ノ刻苦ヲ經テ始テ成レリト云フ

七月二十一日森立之 鶴頷考 ヲ著ハシ嘉祐圖經已前ニ所說ノ鶴頷ハ西戎及波斯ヨリ來リシモノニシテ其形狀ヲ詳ニセスト雖モ蘇敬ノ子似ニ蓬蒿子ニ而細、苦、平有ニ小毒ニ主ニ蚘蟲ニ又丸散中用ウトイヘルナト皆悉ク今西洋ヨリ舶來スル所ノセメンシナニ合スルカ故ニ嘉祐已前ノ鶴頷ハ卽チ「セメンシナ」ナラントノ考ヲ記ス(半紙本、四丁)

幕府旗下ノ士松平左金吾(定朝) 花菖培養錄 ヲ著ハシはなしやうぶノ來歷、珍花十七品、花壇植培養、盆植培養、實生培養、害蟲驅除法等ヲ記述ス

和蘭人はりなすびヲ輸入ス(百品考三編)

己酉 三

泉州岸和田侯小野蘭山ノ本草綱目啓蒙ニ圖ナキヲ慨シ侍醫井口三樂ニ命シテ圖譜ヲ編輯セシメ【本草綱目啓蒙圖譜】山草部四卷ヲ刻ス

喜多村直【蚩志】三卷ヲ撰ス

大和人小森辰伯【新編竹米考】一卷ヲ作リ和漢竹實ノ記事ヲ蒐錄ス

佐藤信淵江戸ニ歿ス年八十三

長崎人野田青陵【拾品考】一卷ヲ著ハシ相思子、多麻林度等舶來品十種ノ考說ヲ擧ク

庚戌 四

細井洵カ【詩經名物圖解】十帖稿成ル細井氏ハ越前福井ノ藩醫ナリ蚤歲小野蘭山多紀元簡ノ門ニ遊ヒ醫術ヲ研究シ兼テ本草ニ精シ著ハス所【本草精義】三十卷【四診備要】二卷等アリ

浪華夕陽菴主人【福草考】一卷ヲ著ハシ靈芝ノ名義ヲ考證ス（美濃版、二十二丁）

小野蘭山著【和漢日用方物略】刻成ル（縱小本、薄葉、百六十丁）

伊勢安濃津寬栗堂混沌舍ノ二氏救荒草品ノ普通ナルモノヲ撰ミ着色圖トナシ上木シ民間ニ頒布ス（救荒圖譜）

二月加來睦之【救荒本草略說】ヲ作ル

江戸城東漁夫【魚釣手引草】二卷ヲ作リ川魚十一種海魚十二種ノ漁具及漁法ヲ圖說ス

辛亥 五

淺田惟常【皇國名醫傳】ヲ著ハシ我邦ノ名醫及本草家ノ傳ヲ記述ス

伊藤圭介【硝石篇】三卷ヲ譯述ス又加農砲（二百目）ヲ鑄造シ藩主ニ呈ス

六月栗本匏菴三十七歲族ヲ擧リテ北海道函館ニ移住シ諸士ノ頭取ヲ命セラレ兼テ綿羊ヲ牧スルヲ督ス此年千歲湖畔ニ採藥シ始メ朝鮮產ト同種ノ五味子ヲ得テ臺府ヲ經テ幕府ニ獻ス將軍ノ用ニ適スルヲ以テ年々貢ス可キノ命アリ

臺府ニ下レリ又命ヲ以テ七重村ニ藥園ヲ闢キ各種ノ藥草及夷地ニ乏シキ松杉ノ苗ヲ培殖シ長スルヲ待テ之ヲ官林及官道ニ移植スルヲ司ル

七月三日蕙畝小野職孝歿ス蕙畝ハ小野蘭山ノ孫ナリ著ス所【救荒本草啓蒙】四卷【秘傳花鏡彙解】二卷等アリ

壬子 六

行方清溪【坤輿外紀譯解】上下二卷刻成ル（半紙本、五十丁）

蘭舶「ストリヤス」草ヲ持來ス

十二月高木春山歿ス著ハス所【本草圖說】二百卷【春山魚譜】【本草綱目正誤】【年々散筆】等アリ

西曆 一八五三

山本亡羊ノ【百品考】三編二冊刻成ル（美濃版、圖入、七十七丁）

三月五日畔田翠山高野山ニ採藥ス

富山侯前田利保【本草通串證圖】二卷ヲ著ハシ人參沙參羊孔、桔梗、甘草、薺

荒等ノ種類ヲ圖說ス

六月二十五日富山藩藥品會目錄成ル

八月二十六日坂本浩然歿ス年五十四府下豐多摩郡澁谷村字宮益妙祐寺ニ葬ル香郁坂本先生之墓ト刻スルモノ是ナリ

魯西亞國人 Dr. Med. Weyrich. 本年及安政元年ノ兩度カラフト島ニ上陸シ植物二十七種ヲ採集ス

癸丑	安政元	森立之擢ラレテ醫學館講師トナル
		七月佐藤信淵ノ遺著「硝石製造辨」刻成ル
		福山藩醫森立之「神農本草經」三卷ヲ校刻シ別ニ「攷異」一卷ヲ附刊ス
		三月十二日畔田翠山孝子觀音山ニ採藥ス同年同月十五日中津河山ニ採藥ス
		同年五月十三日十四日十五日高野山ニ採藥ス
		富山藩士藤澤周「奇草小圖」三卷ヲ撰ミ主トシテ越中立山產草木ノ奇品ヲ蒐錄ス
		幕府綿羊ヲ函館ニ試養セシメ又藥園ヲ函館附近七重村ニ開カシム
		魯西亞ノ醫學士 Weyrich 琉球那覇港及肥前五島ニ來航シテ植物ヲ採集ス
		三月十五日畔田翠山孟子山及釜瀧山ニ採藥ス八月七日孝子觀音山ニ採藥ス
		伊藤圭介近江ヨリ京都諸山攝津有馬邊伊勢朝熊山志摩青峯等ニ採藥ス

乙卯	二	来人チャーレス、ライトジェー、スモール來ル
		阿波人乾純水「品物考證」二卷ヲ著ハス（美濃版、圖入、三十八丁）
		夏中國野鼠多ク田畑ヲ荒スコト甚シ石見國最多シ石州濱田松平右近將監七月十二日屆ニ野鼠狩取數二十萬千九百九十一疋、石州代官所屋代增之助屆三十五萬四千八百五十八疋
		越中富山侯前田[利保]編集「袖珍鑑」刻成ル（横小本、八十一丁）
丙辰	三	二月二十二日畔田翠山孝子觀音山ニ採藥ス 三月六日七日生石山、次之瀧邊等ニ採藥ス三月二十四日二十五日中津河山及犬鳴山ニ採藥ス十一月二日後犬鳴山ニ採藥ス
西曆一八五六		曉鐘成兼葭堂木村巽齋ノ遺稿ヲ編輯シ「兼葭堂雜錄」五卷トナシ松川半山ノ圖ヲ加ヘテ出版ス（美濃版）
		江戸人飯室庄左衛門「蟲譜圖說」十二卷ヲ作ル
		飯沼慾齋「草木圖說」草部二十卷ヲ上梓ス
		行方清溪「採珍堂日摘」三卷ヲ作ル
		宇田川瀛「地震豫防說」一卷ヲ譯ス
		二宮尊德日光客舍ニ歿ス年七十
		花隱散人「橋字說」ノ小冊ヲ出版ス

六月十八日畔田翠山孝子觀音山ニ採藥ス、八月二十七日龍門山ニ採藥ス、九月十四日犬鳴山ニ採藥ス

奥村辰行 水族寫眞 鯛部一卷ヲ刊シ鯛類九十種ヲ圖說ス（美濃版、三十七丁、圖入）

田村吉茂 農業自得 二卷ヲ作ル

水戸藩佐藤民之助 備急八藥新論 三卷ヲ著ハス

皇和眞影本草 刻成ル尾張石黑通玄戶田五郎兵衛壽昌等共ニ之ヲ作ル

蓑蟲庵花翁 蛇品 一卷ヲ著ハシ蛇類三十餘種ヲ記載ス

椰柴海外ヨリ傳ハル

二月伊藤圭介名古屋朝日町ニ藥園ヲ開設シ旭園ト名ケ諸草木ヲ培養シ四月園內ニ於テ博物會ヲ開キ五月吉田平九郎、飯沼慾齋等ト共ニ伊勢菰野山ニ採草ス

行方水谷 品物類聚 七卷ヲ作リ上木ス

西村廣休 小品考 一卷ヲ作ル

眞影本草 卷ノ十一伊勢菰野山採收植物之部刻成ル

清水卯三郎 日本大黃考 一卷ヲ作ル（半紙本、圖入、二十八丁）

西村廣休 小品考 一卷ヲ刻ス（美濃版、圖入、十四丁）

シーボルド再ヒ來朝シ文久二年歸國ス

四	丁巳	五	戊午	六

伊勢人岡田安定 品物名彙 一卷ヲ作リ刊行ス（橫四六版、七十三丁）

英人エム、ベイチ 來リ園藝植物ヲ採リ文久二年歸國ス

六月七日畔田翠山高野山ニ採藥ス同月十八日熊野本宮ニ於テ採藥中病歿ス

歲六十八著ハス所 古名錄 介譜 水族志 北越卉牒 熊野產物志 紀南六郡志 吉野群山志 等アリ

八月富山侯前田利保卒年六十著ハス所 廣庶物類纂 信筆鳩識 本草通串 等アリ

栗本匏庵北海道函館ニ在テ唐太島所產クリンカムイト稱スルハ麝ノ類似ナルコトヲ辯明シ之ヲ大淵棟庵ニ告ク棟庵卽チ諸書ヲ參考シ 麝麝考 六卷ヲ作ル（美濃版、圖入、八十六丁）

十一月二十七日山本亡羊歿ス年八十二

閏三月栩々園主人 芍藥自讚花集 一冊ヲ作リ名花百十五種ヲ列擧シ簡單ナル記相ヲ附セリ（四六版）

五月蘭舶豹一頭ヲ載セ來リ橫濱ニ入港ス洋銀二千五百弗ヲ以テ購求シ七月中旬ヨリ東都兩國廣小路ニ於テ觀物トス加藤良白 觀虎記 ヲ作リ其顚末ヲ記シ以テ世ニ傳フ

江州大津漫唫居士水原某柏祠カ 詩本草 ヲ再刻ス（半紙本、二十丁）

己未	万延元	西暦 一八六〇

魯西亞大學植物學々生 Glehni 氏魯國帝立地學會ヨリ東部シベリヤ探檢補助ノ事ヲ依囑セラレ三月魯京ヲ發シ五月アムール河ノ上流ニ達シ川ヲ下リテ七月中旬樺太島ノ Due ニ來リ夏期間此處ニ止リカラフト南部ヨリ歸來セシ Franz. Schmitt 氏ニ會合シ相共ニ Nikolajenski ニ行キ再ヒカラフト島ニ歸リ萬延二年北部カラフト及南部ノ瀕海地全部ヲ探檢シ五月 Nikolajenski ニ歸リ九月シュミッド氏ト共ニ魯京ニ歸ル此行滿州地方ニテ採集スル植物凡四百七十九種樺太島ニテ採集スルモノ五百八十九種アリ

庚申　文久一

此秋魯西亞植物家カールヨーハン、マキシモヴィチ氏北海道函館ニ來リ植物ヲ調査シ一年間滯留ス

森立之 本草經藥名考 一卷ヲ作ル

丹波康賴著 醫心方 三十卷官刻成ル安政元年ヨリ着手シ同六年十二月ニ至リ功竣ル

信州須坂侯堀良山 櫻譜 一卷ヲ作リ櫻二百餘種ノ形狀ヲ圖シ其品名ヲ註記ス

三浦直重 米德糠藁籾用方敎訓童子道知邊 ヲ著ハシ稻草ノ用途ヲ縷述ス

羽州由利郡岡田明義 無水岡田開闢法 ヲ著ハシ馬鈴薯ノ栽培、澱粉製造法ヲ述フ

辛酉　文久二　西曆一八六二

三月二十五日伊藤圭介博物會ヲ名古屋旭園ニ開ク九月江戸蕃所調所物產學出役ヲ命セラレ二十人扶持金十五兩ヲ給フ

此秋魯西亞植物家カール、ヨハン、マキシモヴィチ氏函館ヲ出帆シテ橫濱ニ趣キ留マルコト四十餘日ニシテ長崎ニ渡航ス翌二年再ヒ橫濱ニ出テ秋復タ長崎ニ歸ル同三年ハ殆ント一年間長崎ニ滯留シ從僕須川長之助ヲシテ九州各地ノ植物ヲ採集セシメタリ

四月普魯西亞東洋學術探檢遠征隊長崎ニ來リ植物學擔當ヲット、シヨットムラア氏竹庵ヲ採集ス

英人アアル、フヲルチュウン氏來リ園藝植物ヲ採集ス

幕府水野筑後守ヲ小笠原島ニ遣ハシ山川ヲ巡視セシメ內地植物ヲ移植ス

東都ノ人泉本儀右衛門幸直 本草要正 十卷ヲ著ハシ以呂波音ノ順ニ從ヒ動植庶品ノ和漢名ヲ考證シ草木ノ園藝的變種數多ヲ列擧セリ

三月二十五日名古屋旭園ニ於テ嘗百社員博物會ヲ開ク

伊藤圭介博物會ヲ江戸ニ開ク十月物產局敎授トナル

英ノ植物家リチヤード、ヲールドハム來リ三年歸國ス

五月九十兩日京都山本榕堂物產會ヲ開キ 讀書室物產會品目 一卷ヲ作ル

（半紙本、十四丁）

醫官高島祐啓幕府ノ遣外使節隨行ヲ命セラレ歐洲ニ往キ［歐西紀行］二十七卷ヲ作ル其中二十卷ハ主トシテ物產ノ事ヲ記セリ

此冬マキシモヴィチ氏長崎ヲ出帆シ喜望峰ヲ週リテ翌年本國ニ歸着ス

英國キウ植物園ノ腊葉掛 Black 氏チユンベルグ氏以後日本ニ於テ採集セシ植物ノ總目錄ヲ作リ顯花植物及羊齒類合セテ千七百十四種ノ學名ヲ列記シ獨逸ノ植物學雜誌Bonplandia卷ノ十ニ掲載ス(Black Systematisches Verzeichniss aller seit Thunberg in Japan gesammelten Pflanzen)

壬戌　幕府米國ヨリ穀菜種子六十品ヲ傳フ（物產年表）

三　伊藤圭介横濱在留和蘭醫師ニ就キ博物學ノ質問ヲ命セラル

五月象（牝）一頭ヲ東都西兩國ニ於テ觀物トス高サ九尺長サ一丈一尺餘アリ

同月駱駄双峯アルモノ者一頭淺草奥山ニ於テ觀物トス

櫻嚀居士ノ［硝石製煉法］刻成ル（美濃版、二十六丁）

物產所ニ於テ佛國ノ蔬菜及樹木ノ種子百十品ヲ下種ス擬合觀（アカシヤ）モ此中ニアリ

又米國ヨリ花草ノ種子露國ヨリ穀菜ノ種子ヲ傳フ（物產年表）

米國ヨリ曼陀羅華ノ異種及形色各異ノ南瓜舶來ス又菎麻ハ從來漢種ノミナリシヲ此頃米國ヨリ其異種ヲ輸入ス（物產年表）

癸亥　小葉阿利韈持來ル

開成所佛局句讀教授田中周太郎（芳男）［佛蘭西獸圖］一冊ヲ譯ス

元治元　會津人紀興之［越後土產］二卷ヲ著ハシ越後一國ノ風土物產ヲ記述シ上木ス

甲子　ホツフマン、シユルテスノ兩氏［日本植物土名錄］ヲ作ル

英國植物家W. Mitten 氏日本及支那沿岸產地蘚及苔蘚類ノ新種ヲ記述ス

慶應元　閏五月五日飯沼慾齋歿ス年八十三大垣本街圓覺寺ニ葬ル

大畑春國［瑞兎奇談］一卷ヲ作リ兎ニ係ル和漢ノ故事ヲ蒐錄ス（半紙本、圖入、十九丁）

乙丑　紀伊人山中信古［南海包譜］ヲ增訂ス

二　正月東都芝白金淸正公廟所ノ門前ノ空地ニ放テ獅子（牝）一頭ヲ觀物トス高五尺五寸長七尺許尾長四尺許アリ是我邦ヘ獅子（ライオン）ノ來ル始ナリ

丙寅　阿部櫟齋［英語箋階梯］鳥ノ部一冊ヲ刊行ス（四六版、圖入、十六丁）

三　八月栗本匏庵瑞西國ニ滯留中アルプス山ニ登リ植物ヲ採集ス

丁卯　和蘭人 Van der Sande Laeoste ミケル氏日本植物譜苔蘚部ノ調査ヲ擔任シ之ヲ記述ス

明治元　西曆千八百六十八年

第三期純正博物學時代年表

明治元	戊辰	六月二十六日醫學所ヲ江戸ニ置ク七月病院ヲ醫學所ニ置ク 六月佛人コニエヲ雇フテ鑛山ノ事ヲ董ス維新後外國人ヲ雇フ此ニ始マル 九月長崎清商ニ令シテ阿片煙ヲ販賣スルヲ申禁ス 十二月七日陸奥ヲ分テ磐城（十三郡）岩代（十郡）陸中（十郡）陸奥（四郡）五國トナシ出羽ヲ分テ羽前（四郡）羽後（八郡）ノ二國トス
二 己巳		二月東京醫學所ヲ改メテ醫學校兼病院ト稱ス 六月江戸薩摩芋問屋相謀リテ目黒村瀧泉寺背後ナル甘藷先生ノ墓碑ヲ修理ス
三 庚午		含翠園藏版［物産會抄輯］初編刻成ル 一月十二日朱座ヲ廢ス 九月河野剛著［農業花暦］刻成ル同人著［農家備要］五冊刻成ル 三月南豐黄築藩ニ於テ曩ニ民部省ヨリ各藩ヘ二部ツヽ頒布セシ［無水岡田開闢法］ヲ翻刻シ之ヲ封内ニ弘布ス 十月二十日阿部喜任歿ス年六十六櫟齋又巴菽園ト號ス著ハス所［隱居放言］［格物瑣言］［草木育種後編］二冊等アリ

四 辛未		九月田圃作物（米麥雜穀等）ノ制限ヲ解キ土宜ニ從ヒ桑、楮、漆、茶ヲ栽培スルヲ許ス 十一月田中芳男［羊齒分科名彙］一編ヲ著ハシ本邦產羊齒ノ種類百八十餘種ノ名稱ヲ列擧ス 彦根藩［製茶圖解］ヲ刊シ之ヲ人民ニ頒ツ
五 壬申		二月八日博覽會事務局ヲ正院中ニ開ク同月二十二日博物局ヲ日比谷門內ニ設ク 三月東京元昌平坂聖堂ニ於テ二十日間博覽會ヲ開キ古玩、珍器、動植庶品ヲ陳列シテ衆庶ノ觀覽ニ供ス之ヲ維新後ニ於ケル博覽會ノ嚆矢トス 七月三十日博覽會事務局ヲ山下門內ニ移ス 十一月九日詔シテ大陰曆ヲ廢シテ太陽曆ヲ用フ乃チ明治五年十二月三日ヲ以テ六年一月一日トス 八月伊藤圭介著［日本產物志］山城部ノ官板刻成ル 杉山守親譯［牧牛說］成ル
六 西曆 一八七三		三月十九日文部省附屬博物館。書籍館。博物局及小石川藥園ヲ博覽會事務局ニ合併ス 六月八日田畑石高ノ稱ヲ廢シ代ルニ段別ヲ以テス 十月二十日博覽會事務局中ニ文書、會計、用度ノ三課ヲ置ク

十一月熊谷縣勸業掛ニ於テ上野國勢多郡原之郷村ノ人船津傳次平口授ノ
桑苗籬伏方法ヲ圖解シテ刊行ス（半紙本、圖入、八丁）
獨逸人デーニッツ（Dönitz）東京ニ來リ植物ヲ採集ス
獨逸スツツトガート市ノ人カールシエンク開成學校ニ於テ始メテ鑛物學ヲ
講ス
津枝正信石品產所考二冊ヲ上木ス（半紙本、六十六丁）
癸酉 佛國植物家サバチエ氏花彙八卷ヲ佛譯シテ以テ彼邦人士ノ參考ニ供フ
七 一月澳國博覽會見聞錄一冊刻成ル
二月尾張伊藤圭介著日本植物圖說初篇草部イノ部一冊刻成ル
四月二十八日博覽會事務局從前ノ課ヲ廢シ更ニ博物、考證、工業、庶務ノ四
科ヲ置キ博物科ニ動物、植物、鑛物ノ三掛考證科ニ考古、書籍ノ二掛工業科
ニ器械、殖產ノ二掛庶務課ニ書記、翻譯、會計ノ二掛ヲ置ク
七月三十日淺草舊米廩ヲ以テ書籍收藏ノ所トナシ淺草文庫ト稱ス
獨逸國地理學者ライン（Rein）日本ニ來リ日光男體山（九月二十三日）及肥後
天草島ニ植物ヲ採集ス
十二月二日田中芳男小野職慤校訂新訂草木圖說草部二十卷官版成ル
伊藤謙著植物學畧解一冊刻成ル

甲戌 小野職慤著植學譯筌刻成ル
田中芳男著動物學哺乳類二冊刻成ル
八 二月九日曇ニ博覽會事務局ヘ合併シタル文部省附屬博物館、書籍館、博物局、
小石川藥園等ノ合併ヲ解ク
三月三十日博覽會事務局ヲ博物館ト改稱シ內務省ニ屬ス
五月三十日博物館ヲ改メ第六局ト稱ス
五六兩月間東京開成學校工學教場ニ於テ本科生ヲシテ各種木材ノ强弱ヲ試
驗セシメ日本有用木材試驗表ヲ編成シ之ヲ刊行シテ工匠ノ參考ニ便ニス
乙亥 九月獨逸農事圖解第一菓樹栽培法刻成ル此圖解ノ原版ハ田中芳男ガ嚮ニ
澳國博覽會ヨリ齎ラシ歸リテ官ニ納メタルモノニシテ蓋シ獨國農業ノ大要
載セテ漏スコトナシ其說明確用意周密殊ニ畫圖ノ精巧完備ナルニ至テハ大
ニ看者ノ想像ヲ切實ナラシム故ニ各般ノ事業モ容易クコレヲ實地ニ施スコ
トヲ得ヘシ洵ニ農家ノ標準トイフヘシ官因テ急ニ刊布ヲ謀リ蘭人フアンカ
西曆 一八七五 ステールヲシテコレヲ譯セシメ平野棨、鳴門義民コレヲ校閱シテ傍訓ヲ施
コシ以テ農家子弟ノ誦讀ニ便ナラシムト云フ
草木圖說目錄一冊刻成ル博物局ノ編集ニ係リ飯沼氏ノ草木圖說新校正ニ

出タル維丁名及自然分科等ヲ記入シ舊版ヲ藏スル人ヲシテ再ヒ新校正ヲ贖フノ冗ヲ省カンガ爲ニスル所ナリ

醫學部御雇博物學教師獨逸人ヒルゲンドルフ(Hilgendorf)日本採集植物ノ腊葉ヲ伯林博物館ニ贈ル同學解剖學御雇教師デーニッツ日光男體山、駿州富士山ニ登リ植物ヲ採集ス

開成學校獨逸部鑛山ノ學科ヲ主眼トス(廢セラル鑛物學教師カール、シエンク(Karl Schenk)學生和田維四郎ノ鑛物ノ研究ニ志厚キヲ感シ學術優等ノ證明書ヲ與フ

乙亥　九

田原陶齋編　植物學抄譯　五冊成ル

田中芳男著　動物訓蒙　刻成ル

一月四日内務省第六局ヲ再ヒ博物館ノ名稱ニ復ス

四月十七日博物館中別ニ博物局ヲ設ケ事務所ト物品陳列場トノ區分ノタメニ事務所ヲ博物局ト稱シ物品陳列所ヲ博物館ト稱スルニ定ム同月二十一日局中ノ博物、考證、工業、庶務ノ四科ヲ總テ掛ト改稱シ從前科中ニ置ク所ノ掛名ヲ廢ス

十一月十七日博物、考證、工業ノ三掛ヲ廢シ天産、農業、樹林、工藝、器械、藝術、史傳、教育、法教、陸海軍八掛ヲ置ク庶務掛ハ故ノ如シ

丙子　十

獨逸人デーニッツ日光湯元及上總鹿野山ニ植物ヲ採ル

百科全書鑛物編成ル(鈴木貞輔譯、文部省印行、頁數一四八)

和田氏譯　金石學　成ル

各府縣金石試驗記　成ル(明治八年分及九年分)

新藥伊呂波字引　(小本横帳)

東京大學教授矢田部良吉小石川植物園長ニ任ス

獨逸人ライン日光山ニ植物ヲ採ル

獨逸人製藥學士ドクトル、マルチン相州雨降山ニ登リ植物ヲ採集シ「ヒブソメートル」ヲ以テ同山ノ高度ヲ測量シ千三百五十「メートル」ノ數ヲ得タリ

内國勸業博覽會開設

丁丑　十一　西曆一八七七

金石識別表　成ル(和田維四郎編輯、東京大學理學部、頁數一六七)

服部元彝藤田克三著　大日本樹木志略　二冊刻成ル

月七　小石川植物園植物目錄　成ル

四月七日寫生畫家關根雲停歿ス年七十四青山千駄谷長善寺ニ葬ル本草書ノ中翁ノ手跡ヲ存スルモノ　草木錦葉集　草木奇品鑑　等アリ

和田維四郎　本邦金石略誌　ヲ著ハス此書ハ同氏金石取調所、教育博物館、博物局竝ニ十年ノ内國博覽會ニテ親シク實見セルモノ及親ラ蒐集セシモノ等

十三	西曆一八七九	己卯

トル」五合目樹林ノ絶ユル邊ハ海拔二千二百二十五「メートル」ノ樹林ニ接スル邊ハ海拔千四百五十「メートル」ナリト云フ又同氏ハ神戸ノ六甲山（海拔千「メートル」）ニ登リ廣嶋、門司、長崎及同地鷹ノ島等ヲ巡歷シテ地衣植物凡四百種ヲ採集セリ後年此品ヲ佛國ノ地衣專門家ニイランデル（Prof. Nylander）氏分類調査シテ日本地衣譜（Lichenes Japonicæ）一卷トナシ明治二十二年巴里ニ於テ刊行セリ

十一月英人工部大學御雇敎師ミルン武州久良岐郡根岸村ニ於テ石鏃石斧及古陶ノ破片數枚ヲ採收ス

十一月十八日山本亡羊翁二十年忌門人子弟相謀リテ博物會ヲ西京本國寺ニ開ク此會ノ狀況ハ「遺馨錄」（上下二冊）ニ詳ナリ

和田維四郎著「品形學」ノ官版刻成ル

武藤壽「日本金石產地」及「金石對名表」成ル

白野己巳郎「金石小解」成ル（丁數五六）

永田方正著「由氏植物學」五冊刻成ル

松原新之助「藥用植物學」一冊刻成ル

十二月森立之大藏省編輯官ニ任ス

官ヨリ小笠原ヘ內地產ノ黑松及赤松ヲ移植ス又外國種植物若干ヲ移植ス其

十二	戊寅	

ヲ記シ其時代ノ鑛物智識ヲ代表ス

松原新之助著「植物綱目撮要」三冊「植物名稱一斑」一冊刻成ル

內田彌一著「小學敎本日用植物篇」四冊刻成ル

一月「勸農局農書要覽」一冊ヲ刊行ス

小野職慤撰「毒品便覽」刻成ル有毒草木二十種ヲ圖說ス（四六版、圖入）

加來飛霞小石川植物園ニ奉職ス

駒場舊藥園ヨリ黃蘗（徑四寸高三丈許）一株山茱萸（徑五寸許）ヲ駒場農學校ノ植物園ニ移植ス後山茱萸ハ枯死シ黃蘗ハ今尙ホ生存ス

米國前大統領グランド夫妻來朝シ紀念ノタメ上野公園鐘樓臺ノ傍ニグランドヒノキ（Chamaecyparis Lausoniana）タイサンボク（Magnolia grandiflora）ノ二樹ヲ手植ス實ニ八月二十五日ナリ

八月十三日東京大學理學部御雇動物學敎師モールス埼玉縣下大里郡靑山村ノ百穴ヲ探リ熊谷驛ノ中敎院ニ於テ考古學上ノ演說ヲナス

九月初旬瑞典國植物家イー、アルクイスト（E. Alquist）Vega 號探檢船ニ乘シ橫濱ニ來リ外務省ノ允許ヲ得テ地衣植物採集ノ爲メ富士山ニ登ル同氏ノ記行ニヨレハ九月十五日案內、通譯官、給仕等ヲ從ヘ村山口ヨリ登山シ一合目ノ小屋ニ三泊シ十月三日橫濱ニ歸ル富士山頂ハ海拔三千七百四十五「メー

庚辰

主要ナルモノヲ擧クレハユーカリプタス二種カズアリナ二種アラウカリヤローリイル フィカスエレスチカ等是ナリ

獨逸學士ドクトル デーテルライン(Dr. Döderlein)(魚ノ專門家)本年八月鹿兒嶋縣下大島ニ赴キ十六日間逗留シテ動植物ノ探究ニ從事ス此時鹿兒島ノ人田代安定常ニ同行シ嚮導ノ任ニ當レリ當時ノ狀況 Ueber die Flora der Liukiu Inseln ト云フ「デイ」氏ノ論文ニ詳ナリ

英國宣敎師アル、ホルチユーン(R. Fortune)支那及日本ヨリ歐州ヘ輸入セシ植物類ノ小記ヲ作リ同時ニ日本菊花ノ說ヲ作リテガーデナルス、クロニクルニ揭ク

五月松浦弘和州吉野ヨリ大峯ニ登リ彌山、釋迦ケ岳、前鬼、玉置ヲ過キ紀州熊野ニ出テ「庚辰游記」一卷ヲ作ル

博物館列品目錄成ル

Catalogue of the Minerals, Rocks, Fossils, Shells and Casts in the Geological Department, Imperial College of Engineering(Kobu Daigaku) 成ル

高島得三田中壤著「木曾樹木誌略」小本刻成ル

松本駒次郎著「植物啓蒙」三冊刻成ル

明治

十四 辛巳

四月七日博物局ヲ農商務省ノ主管ニ屬ス

六月二十五日從前ノ分課ヲ廢シ更ニ天産、農業、藝術、史傳、工藝、圖書、兵器、敎育、庶務ノ九課ヲ置ク

丹波敬三著「普通植物學」刻成ル 松村任三著「植物小學」二冊刻成ル

伊藤圭介加來飛霞著「小石川植物園植物圖說」出版

「小石川植物園植物目錄」第二版成ル

博物館列品目錄(動物植物)成ル

瀧澤清「萬匠寫生雛形」刻成ル 京都大久保幸七「萬年生圖寫」刻成ル

十五 壬午 西曆一八八二

三月二十日上野ニ新築スル所ノ博物館ヲ開ク

四月十日博物局ニ園藝課ヲ置ク

三月東京生物學會會則ヲ改定ス 其緒言ニ曰ク

明治十二年前東京大學動物學敎授米人イ、エス、モールス氏同植物學敎授矢田部良吉氏等ト相謀リ諸有志ヲ集メ一會ヲ設立シ生物學ニ關セル事項ヲ討論、演說シ就中モールス氏ノ如キハ歐米ニ於テ理學世界ヲ震動セシ新說ヲ連リニ講述セシヲ以テ傍聽ヲ望ム者衆ク頗ル盛大ヲ極ム是レ實ニ本會ノ起源ナリ翌十三年モールス氏期滿チテ國ニ歸ルニ及ンテ會員漸ク減スト雖モ篤志ノ者尙ホ依然トシテ本會ヲ維持シ三年ノ星霜ヲ經シニ幸

ニ近來入會スル者大ニ增加シ今日ニ及ンテ嚴然一學會ノ體裁ヲ成スニ至レリ乃チ本年二月十八日ヲ以テ東京大學三學部ニ會シ更ニ會則ヲ改定シ役員ヲ撰擧シ益本會ノ素志ヲ擴張シ此學ヲ旺盛ナラシメンコトヲ期ス今會則ヲ刊行スルニ臨ンテ聊カ本會沿革ノ大略ヲ誌スト云フ

二月二十五日伊藤圭介、加來飛霞、矢田部良吉、大久保三郎、松村任三、澤田駒次郎、宮部金吾、岡田信利、大沼宏平、內山富次郎ノ諸氏東京植物學會ヲ創立シ此日第一會ヲ東京大學小石川植物園ノ事務室ニ開ク

七月矢田部良吉、松村任三、外山正一、高嶺秀夫、後藤牧太ノ諸氏富士山ニ登リ植物ヲ採集ス

六月栗本匏庵、大淵棟庵、淺田宗伯等溫知社藥品會ヲ神田五軒町和漢醫學講究所內ニ開キ水陸所產ノ諸物ヲ陳列シ衆人ヲシテ縱覽セシム（半紙本、圖入、十七丁）

十月二日大政官第五十八號ヲ以テ左ノ如ク達セラル

文部省所轄東京大學ニ於テ考古學研究ノ爲メ敎員學生等ヲ各地ヘ派出シ介墟、洞穴ヲ檢出シ地方廳又ハ所有主ヘ協議ノ上埋沒ノ古物ヲ採集スルトキハ直ニ同學ニ貯藏致候條爲心得此旨相達候事

大政大臣　三條實美

四月十五日伊藤圭介翁［耋筵誌品物之部］一冊刻成ル（半紙本、二十四丁）

七月群馬縣勸業課ニ於テ高野長英著［二物考］ヲ再版ス（美濃版、圖入、十三丁）

十月松原新之助著［植物學］二冊成ル

松本駒次郎［動物小學］四冊刻成ル

壬午　福羽逸人［紀州柑橘錄］刻成ル（半紙本百二十七頁、圖四十頁）

十六　八月東京大學理學部地質學御雇敎師獨逸人ゴツチエ（Gottsche）對馬及朝鮮ニ赴キ植物ヲ採集ス

大槻修二［金石敎授法］（丁數二四丁）

丹波敬三柴田承桂［普通動物學］成ル

鹿兒島縣編輯［麑海魚譜］成ル

練木喜三［應用動物學］一冊ヲ著ハス

細川潤次郎［養蘭須知］刻成ル（半紙本、十一丁）

癸未　農務局育種場編纂［改訂增補舶來穀菜目錄］及［舶來果樹目錄］刻成ル

十七　五月淡州洲本ニ於テ博覽會ヲ開キ主トシテ同國內ノ名物珍器ヲ蒐集シ衆庶ノ觀覽ニ供ス此時同地ノ醫大村純道草木二百五十種ヲ出品ス內救荒植物八十四種、有毒植物二十一種、毛詩植物九十五種、同雜草木五十八種アリ

西曆一八八四　九月二十八日田中芳男、宍戶昌等畔田翠山ノ遺稿［水族志］ヲ得テ之ヲ刊行ス此書我邦所產ノ水族七百三十五種ノ形狀、氣性ヲ記述スルコト頗ル詳密

ニシテ古來未タ此書ノ右ニ出ツルモノナシト云フ

小藤文次郎「金石學」刻成ル

竹中卓郎「舶來果樹要覽」一冊成ル

甲申　十八

山林局員北原大八命ヲ奉シテ小笠原島ニ航シ「チーク」樹、幾那樹、阿利巍樹、欅、椎、黃楊、梓ノ諸樹ヲ移植ス

一月十九日從來博物館中ニ於テ衆庶ニ書籍ヲ閱覽セシムルコトヲ停止ス

四月二十八日府下池尻村ニ於テ土偶ヲ發見ス（白井）

五月尾張人小田切春江「凶荒圖錄」一卷ヲ作リ卷尾ニ愛知縣嘗百社員戶田壽昌所撰「救荒草木一覽」ヲ附錄シ上木ス（半紙本、圖入、二十七丁）

大學理學部教授矢田部良吉文部省ノ命ヲ奉シテ米人ユーサ、グレーガ所著學校植物學ヲ翻譯シ「植物通解」ト名ク此年官版刻成ル

佛國宣教師ウルバン、フヲリイ（Urban Faurie）青森地方ニ植物ヲ採集ス

獨逸植物學士アー、エングラー（Adolf Engler）我琉球諸島及西南地方ノ植物銘譜ヲ作ル書中記載ノ植物ハ曾テデーデルライン及田代安定ノ兩氏ガ琉球群島中ノ大嶋ニテ採集シタル九十五種ヲ材料トシタルモノニシテ其中Sceleria Döderleini, Cinnamomum Döderleinii, Asleonium Döderleinii ノ三種ハ全ク新檢出ノ種類ニ屬セリ又右九十五種中六十種ハ日本本島及亞細亞ノ他

ノ部分ニ產スル已知ノ種類ニシテ殘リ三十五種ノ中二十六種ハ支那及印度諸島ニアリ他ノ七種ハ濠州ニアリ殘餘ノ二種ハ馬來、錫倫、比麻羅耶山等ニ產スト云フ

「普通金石學」（熊澤善庵、柴田承桂編纂、二五二頁）刻成ル

「金石一覽圖解」（井上久太郎著、島田庸一閱、丁數四四）刻成ル

十月四日京都山本氏「讀書室本草會品目」成ル（養育醫談第四十八號）刻成ル

安本德寬著「植物書」「動物書」各一冊刻成ル

乙酉　十九

二月片山直人「日本竹譜」三卷ヲ作ル（半紙本、百六十四丁）

三月二十五日博物館ヲ宮內省ノ管理ニ附ス

五月日本山林副產物製造法（今川齋編輯）

七月理科大學教授矢田部良吉同助教授大久保三郎學生柘植千嘉衞、宍戶一郎、深谷德五郎、小石川植物園園丁長內山富次郎等佐渡ニ赴キ植物ヲ採集ス

佛國人宣教師フヲリー青森、秋田、南部、弘前、函館、國尻ノ諸地ニ植物ヲ採集ス

獨逸植物家ウアルブルグ（Warburg）本年ヨリ二十一年ニ至ル三年間東印度日本、支那、ズンダ島、モロッコ、ツエラム、バチヤン新グイニヤ島ノ蘭領海岸等ヲ巡歷シ植物ヲ採集ス

西曆　一八八六

魯國植物家マキシモイツチ東亞細亞植物誌第六編成ル編中新種八品ヲ記ス
左ノ如シ

Euonymus Tashiroi
Galactia Tashiroi
Erythraea Japonica
Anoectochieus Tashiroi
Premna glabra
Premna staminea
Rhododendron Tashiroi
Webera retusa

此中初ノ五種ハ琉球群島ニ固有ナルモノニシテ後ノ三種ハ琉球附近及小笠原島ニアリ

七月 凶歳必携（四六版、竹内拙三編輯、五十七丁）成ル

理科大學植物標品目錄 刻成ル

石川千代松著 動物通解續篇 二冊刻成ル

二月植物學雜誌第一號ヲ會員及有志者ニ頒チ以後毎月之ヲ發行ス

丙戌 二〇

佛國宣教師フヲリー青森八甲田山（八月）日光山（八月）琉球大島（十月）等ニ植物ヲ採集ス

八月獨逸人ゴッチエ再ヒ對馬ニ赴キ植物ヲ採集ス

獨逸遊歷植物家ワアールブルグ朝鮮ヨリ五島、對島ヲ巡見シ東部ニ來ル

一月十八日博物館ヲ圖書寮ニ屬ス

佛國宣教師フヲリー青森、秋田、鳥海山、佐渡、淺間山、仙臺、弘前ノ諸地ニ植物ヲ採集ス

福岡縣下筑後國在留佛國宣教師 P. Faurel 筑後地誌略所載ノ夏蟲冬草ニ注意シ其實物ヲ採集シテ地誌略所載ノ解說ノ譯文ト共ニ之ヲ佛國菌類學會ニ送致ス菌類學者 Patouillart 此ニ Cordyceps nutans ノ新名ヲ考定シテ之ヲ菌類學雜誌ニ揭載ス

三好學 植物自然分科一覽表 一折ヲ著ハシ刊行ス

牧野富太郎 日本植物志圖編 ノ出版ヲ始ム

白井光太郎譯 植學自然分科檢索表 成ル

十二月十七日 多識會誌 第壹輯成ル（半紙版、五十二丁、圖入、伊藤篤太郎編）

十月十五日伊藤圭介、田中芳男、栗本鋤雲、大澗祐玄、石坂堅藏、林洞海等ノ諸氏相謀リ多識會ヲ東京兩國香樹園ニ開ク

丁亥 二一 西曆 一八八七

二月十六日魯國植物家カール、ヨハン、マキシモウイチ氏歿ス享年六十四
一月十四日江馬活堂歿ス年八十六著ハス所[草木圖彙]五十卷[藤渠介品圖譜]
十一卷[漫筆]百卷[排佛論]三十七卷[治療口決]三卷アリ
佛國宣教師フヲリー江刺、根室、禮文尻、エトロフ等ノ諸地ニ植物ヲ採集ス
四月瑞西國ヨハン ムラー矢田部良吉ガ送附ノ地衣標本ヲ檢定シテ其目錄
ヲ製シテ同氏ニ回答ス該目錄ハムラー氏ガ Lichenes Miyoshiani ト題シ Nuovo
Giornal Botanico Italiano, Vol. XXIII, M. 1. ニ掲載シタルモノニシテ該標
品ヲ分類シ一々原番號ヲ附シ且新種ハ之ニ記號ヲ附記セリ尤モ氏ハ是ヨリ
先同氏著 Lichenologische Beiträge (Flora Heft I, 1891) 中ニ千五百八十五號
ヨリ千六百〇六號マテ該標品中ノ新種若干ヲ記述シタレハ其分ハ此目錄中
ニハ省略セリ
W. Mitten 氏 An Enumeration of the Sp. Musci and Hepaticae recorded from
Japan (Transac. of the Linn. Soc. of London 1891) Vol. III Pl. 113—206)ヲ
作ル
白井光太郎著[日本博物學年表]刻成ル
[帝國博物館天産部]一[金石岩石及化石標本目錄]二二九頁成ル
菊地氏[鑛物學教科書]上卷刻成ル

磯村貞吉著[小笠原島要覽]刻成ル
五月十六日圖書寮附屬ノ博物館ヲ廢シ更ニ帝國博物館帝國京都博物館帝國
奈良博物館ヲ設置ス
佛國宣教師フヲリー北海道國尻島ニ植物ヲ採集ス
瑞西ノ植物家ドクトル、クリスト氏フヲリー氏採集日本產羊齒類四十一種
ヲ記述シ五新種一變種ヲ擧ク
飯島魁著[中等教育動物學教科書]刻成ル
江夏利兵衛[雁皮栽培法]刻成ル(四六版、十九丁、非賣品)

十二月二十八日西村廣休歿ス著ハス所小品考アリ
三月矢田部良吉理科大學所藏日本產地衣標品百六十三包ヲ瑞西國ゼネーブ
ノドクトル ヨハン、ムラーノ許ヘ送附シ其檢定ヲ乞ヒ且歐洲產ノ地衣標本
ト交換ノ事ヲ協議ス
今井兼角[菊牡丹梅培養手引草]一冊ヲ著ハシ上木ス
佛國宣教師フヲリー北海道江刺、網走、根室及陸中國盛國附近同岩鷲山等ノ
植物ヲ採集ス
陶山清猷[有用藻譜]第一篇刻成ル藻類百種ヲ記載ス

十月二十二日小野職慤歿ス年五十一

辛卯　遠山景直 北海道重要海產志 刻成ル

二五　榊原正彥 梅史 ヲ作リ梅ニ關スル故事ヲ網羅ス

佛國宣敎師フヲリー北海道釧路ニ植物ヲ採集ス

英國植物家ダブリユー、ミツテン(W. Mitten)日本產地蘚類及苔蘚類總目錄ヲ作ル(トランサクシヨン、チブ、ゼ、リニアンソサエチイ、チブ、ロンドン、第三卷)

九月二十五日田中長嶺著 香蕈培養圖解 刻成ル(半紙本、十四頁)

七月五六兩日錦窠翁九十賀壽博物會ヲ名古屋市愛知博物館ニ開キ品物書畫ヲ展觀ス

九月三十日伊藤順子 萩花集說 刻成ル(半紙本、九丁)

壬辰　十二月四日 梅史 刻成ル(榊原正彥著、非賣品、白紙刷、三十四丁)

二六　梅森三郎 凶荒誌 一卷ヲ作リ上木ス(四六本、二六〇丁)

佛國宣敎師フヲリー北海道ニ至リ笘小牧、アカン湖、釧路、根室、禮文尻ノ諸地ニ植物ヲ探ル

エー、ベシレール佛國宣敎師フヲリーカ明治十八年ヨリ本年ニ至ルマテ日本ノ諸地方ニテ採集セシ標品ヲ本トシテ諸書ヲ參考シテ 新撰日本苔蘚譜 ヲ作ル而シテ其產地縣名ノ詳ナラサルモノハ當時獨逸ライプチツヒ市留學中ノ三好學ニ囑シテ之ヲ記入セリト云フ(アンナアル、ド、シアンス ナテユレール 第七卷十七册)

Imperial Geological Survey of Japan, with the Articles exhibited by the Geological Survey at the World's Columbian Exhibition, 1893. 地質學雜誌發行

七月七日多羅尾忠郎 千島探檢實記 刻成ル

十二月十八日 錦窠翁九十賀壽博物會誌 上下二卷成ル(一九四丁、伊藤篤太郎編輯、半紙本)

癸巳　佛國宣敎師フヲリー秋田ニ植物ヲ採集ス

二七　三月加來飛霞歿ス年七十九著ハス所 日州採藥記 油布嶽採藥記 島原採藥記 救荒本草略說 小石川植物園草木圖說 等アリ

甲午　植田安兵衞 蕎麥志 初篇ヲ刻ス其目次左ノ如シ

二八　蕎麥圖說、蕎麥河漏紀原、蕎麥河漏名義、蕎麥粉製法、河漏製造幷用法、河漏能毒、文苑、河漏雜說、植物冐蕎麥名者、形狀

秋田縣石川理紀之助 草木谷山居成蹟 一冊ヲ上木ス(小本、五十丁)

乙未　楳原寬重 續雁皮栽培錄 (半紙本、圖入、十五丁)

二九　三月十七日シーボルド百年誕生節紀念會ヲ上野精養軒ニ開ク來會者七十二名アリ

西曆　米國アアサア、ベンネット(Arther Bennet)日本產ヒルムシロ屬二十種ヲ記載ス

一八九六

己亥		Jimbo's Notes on the Minerals of Japan. (Science College Journal.) 刻成ル
		石坂堅壯歿ス年八十六名秋朗宇天津空洞ト號ス備前ノ人家代々備前侯ノ醫官ナリ幼ヨリ好ンテ本草ノ書ヲ讀ミ本草綱目及ヒ本草啓蒙「リンネウス」ノ本草學ニ至リテハ殆ンド其文ヲ諳誦セリト云フ
		以下略ス

丙申		平瀬作五郎銀杏樹ニ精蟲アルコトヲ發見ス
		帝國博物館天產部 金石、岩石及化石標本目錄 成ル
三〇		佛國宣敎師フヲリイ越後妙高山、鬼カウベ、青森ノ諸地ニ植物ヲ採集ス
		佛國植物家フランシエ日本產きつねあざみ屬十六種ヲ記述シ瑞西ノボアシイア日本產虎耳草科三十三種ケレット日本產ヲトギリ草屬十一種ヲ記述ス
		池野成一郎蘇鐵ノ精蟲ヲ發見ス
丁酉		Imperial Geological Survey of Japan with the Catalogue of Articles, exhibited at the Seventh International Geological Congress, St. Petersburg. 1897.
三一		水戸ノ人生田目經德 花ざくら 一卷ヲ作ル
戊戌		佛國宣敎師フヲリイ陸中盛岡岩鷲山。日光山、伊豆伊吹山ノ諸地ニ植物ヲ採ル瑞西ノボアシイア日本產萱科六十一種ヲ記述ス
三二		佛國宣敎師フヲリイ伯耆大山、肥後阿蘇山、國上山、祖母嶽ニ植物ヲ採集シ又北海道利尻山ニ植物ヲ採ル
		ボアシイア日本產十字花科四十七種ヲ記述シ八新種ヲ檢定ス
		エー、ヘツケル日本產禾木科二百五十二種ヲ記述ス
		エン、ウイルリアム日本產みみなぐさ屬八種ヲ記述シ二新種ヲ擧ク

索引

增訂日本博物學年表 終

植物索引

イ

イハカヽミ 一三〇
イハラン 一六四
イチヤグサ 七五
イリモテラン 一七五
イヌサンセウ 七三
イカリサウ 七二
イレイセン 七〇、七二
イツセツシシ(一節四枚)ノタケ六五
イ子 一〇、一四、一五
イウヨウシヨクブツ 二五、一五二
イノンド 一七八
イクリニン(郁李仁) 一七一
イケマ 一三〇、一四三
イシヤダチシ 四四、一二二
イシモチサウ 一五九
インゲンサヽギ 四八
インゲンマメ 四八
イズキ 七三

ロ

ロウロ 八一、四四
「ロホズハンエリコ」 一四三
ロクハイ 一四三
ロクヤク 一三〇

ハ

バイケイサウ 一六四
バイモ 七五
ハハコグサ 一七五
ハチク 七二
ハチサウ(八草) 五一、一〇九
ハリナスビ 四七
バリン 四四、七〇、七二
ハルニレ 一八七
ハルフヨウ 一六一
ハルシヤギク 一四一
ハカンザウ 六四
バレイシヨ(ナンキンイモチ見ヨ) 一七五
バレン(バリンチ見ヨ) 七三
ハヅ 一一六、一五三、一七六
バツカツ 四八
ハナガササウ 四八
ハナダチバナ 七三
ハナシヤウブ 一七七、一八七
ハナヒリノキ 一二九
バウイ 四四
ハウガジュツ 一八一
ハウフウ 七一
ハウサイラン 一一三、一八〇
ハクカ 七三、一八三
ハクトウオウ 四四、七二
ハククハノブシ 七九
ハクサンナデシコ 一六五
ハクゼン(白蘚)七〇、一〇三、一八〇
ハクゼン(白前) 七五
ハヤソバ 一六六
ハマバウフウ 七一
ハマスゲ 七五
ハゴロモサウ 六四
ハコ子サウ 一四一
ハコシ 一八〇
「バアルドザアト」 一〇三
ハシハミ 四七
ハシカンボク 一六五、一八二
ハゼ 四六
ハス 四七
バンウコン 一七七、一七八
パンヤ 九六、九七

バンジャリウ　一六七、一七八

ニ

ニハウメ　七一
ニガナ　一四一
ニクヅク（シヽヅクチ見ヨ）
ニクケイ　五五、七三、一一六、一八六
ニクジュヨウ　七四
「ニコチアナ」　一八四
ニシキラン　一六九
ニンニク　一一七
ニンドウ　七五
ニンジン（テウセンニンジンチ見ヨ）　一四一
ニンジンボク　一六七

ホ

ホヽノキ　四七
ホトヽギス　一七一
ホルトノキ　一〇〇
ボダイジュ　九八、一〇八
ボタン　四七、六〇
ホダソラ　一四一
ホクゴミシ（テウセンゴミシチ見ヨ）
ホコツシ　一六七
「ボスメン」　一七九

ヘ

ヘチマ　一七一、一四七
「ヘルトルセルテレイ」　一七八

ト

トチ　一六一
トチウ　一八四
トリカブト　一六九
「ドルレケルフル」　一一七
トチリコ　七五
ドラウタウ　一四一
トウチウカサウ　七〇
トウシンサウ　七一、一三〇
ドクウツ　四七
トクサ　一二九
ドクキヤクレン　七四
トケイサウ　一六五
トケンラン　七二
ドサイシン　一四一
ドサンシチトキシクノカクノコノミ　一六七
ドシャウシ　一二四

チ

チドリラン　一六四
チヽウデヽウセイ　七三
チョレイ　七六
チョジツシ　七二
チウゼンジアヤメ　一三〇
チクセツニンジン　五三
チヤ　一六一
ヂヤガタライモ（ナンキンイモチ見ヨ）　一四、五〇
チヤラン　一八二
チヤウカウ　一八四
チヤウカウカ　一八六
チヤウカウカウカ　一一九
チヤンチン　八〇
チモ　七〇
ヂンスイカウ　七一、一三〇
ヂンカウ　四七
三八、一四三、一四四

リ

リロ　一二九
リウガン　一六五
リウナウハクカ　七四、七三
リウキウ　六九、一七六
リウキウイモ　一八〇、一三〇
　七二
　七〇

リウキウドフクレウ　一一六
リウセンクハ　六二
リヤウブ　八九
リヤウトウニンジン（テウセンニンジンチ見ヨ）

ヌル

ルリサウ　一四一
ルカウサウ　五五

ヲ

ヲニトコロ　七二、四四
ヲニノマユハケ　七一
ヲホバジヤウガヒケ　七一
ヲホバセンナ　一八五
ヲホタラ　七二
ヲホキリシマ　五一
ヲトコヨモギ　一四一
ヲリイブ　一〇〇
ヲガタマノキ　一五二
ヲソイ子　一〇
ヲランダカイウ　七五
ヲランダヤクサウ　一一七
ヲランダキジカクシ　七六
ヲランダヒルガホ　一一七
ヲランダセキチク　一七五、一八四
ヲランダスイセン　一七五、一八四
「ヲキサリス」　一七五、一八四
ヲジキサウ　一六一
ヲモト　七三
ヲモトリロ　七五
ヲンジ　一三八、一五九、一六一

ワ

ワハクカ　七五
ワニクチモダマ　一一三
ワニンジン　一七五
ワタ　八四、一六五
ワタノキ　一六八
ワタラユリ　一七五、一八四
ワツルニンジン　一七五、一八四
ワラビ　一六一
ワウゴン　四七、一一七
ワウシヨクキ　一一七、一七三、一七六
ワウセイ　四四
ワノシヤジン　七五、一八〇
ワケギ　七二
ワサビ　一一七
ワンピ　一一三

カ

カイウ　一七八
カイトウヒ　一七三
カイキンシヤ　七五
カハラチゴ　七二
カボチヤ（タウナスチ見ヨ）　四三
カボチヤアサガホ　一〇三
「カチヤンボチン」　一八四
「カリース」　一五七、一五八、一八四
カカヤンバラ　一六一、一七五、一七六
カカヤンナツメ　一七六
ガツマル　一七八
カキ　四七、五〇
「カナリサード」　一八四
カヲボケ　七一
カラスウリ　七一
カラスノサンセウ　七五
カウゾ　五〇、七二
カウブシ　七五
カウジ　一〇
カクウイキヤウ　七一

カクソウ　一三〇
カヤ　四七
カヤツリグサ　四一
カケイリ（嘉慶李）　一八〇
「カブチコリス」　一七五
カミノキ　一二二
「カミルレ」　一八四
カシウ　四四、七三
カントンニンジン　九二、九六、一一一
カンカツ　七一
「カンナインヂカ」　一五四
カンラン　一七七
カンザウ　七四
カンキツ　一四五
カンシ（カウジチ見ヨ）
カンシヨ（サツマイモチ見ヨ）　一一六
カンシユサウクハ　五五
ガンセキラン

ヨタ

タイタウゴメ　五八
タイダキ　七一、七五、一二九
タイエフバクモントウ　七一
「タバコ」　三七、三九、五〇、七一、一三六、一八五
タチマナ　四
タウアタ　一四一
タウカヘデ　一八〇
タウツバキ　一七五
タウツヽジ　一二二
タネブ　一八四
タウナス　二四、一九六
タウヤク　七一
タウゴマ　一五四
タウアヅキ　一七七
タウモロコシ　七四
「タマリンド」　四七、六七、七〇、七七
タコノキ　一四九
タモトユリ　五二
タンチク（ハチクチ見ヨ）
タンキリマメ
タンジン

レ

レイシ（靈芝）　六九、七四、一七六
レイシ（茘枝）　一八八
「レリイナルキス」　一八四
「レンゲル」　一四八
「レセダチドラダ」　七一
レンギヤウ　七六

ソ

ソバ　一〇、一六六
ソダクダン　四四
ソケイ　一八三
ソシンラン　一八〇
ソビサウ　七三

ツ

ツバキ　四〇、四三、七一
ツバキノヒトデ　一三三
ツルニンジン　七二
ツルウヅ　一五九
ツルマサキ　七二
ツヽジ　五一、六九、一六六
ツクバネサウ　一三〇
ツキ　四七

子

ネギ　一一七
ネズミサシ　一四三、一一五

ナ

ナニハイバラ　七二
ナタネ　四四、五〇、一五二
ナツメ　一八〇、七三
ナラ　一六一
ナシ　四七
ナスビ　一四九
ナンバンアヅキ　一八八、一六五、一七七
ナンバンサイカシ　一〇四、一六七
ナンゴミシ　七五
ナンキンイモ　二四、一六六
ナンキンザクロ　七六、一八一
ナンモクカウ　七二

ラ

ライアツン　七一
ラウバイ　四七
ラウドク　一三〇
ラウタウ　七一
ラウダ　一三〇
ラウサウコク　一八四
「ラノンケル」　一七五
ラククヮシヤウ　六二
ランジヤタイ　三七

ム

ムラサキ　一七五
ムラサキチモト　一四一
ムクゲ　七一
ムギ　一一七
ムメ（ウメチ見ヨ）

ウ

ウド　四
ウリ　二四、三九、四七、五〇
ウルシ　四六、一二一
ウルシノキ　四四
ウヅ（アシチ見ヨ）
ウコン　四四
ウキウ　一七七
ウメ　四七、一三一、一三九、一四二、
一五七
ウシノサウメン　七一
ウンカウ　一三〇
ウンタイ　一八四
一七五
六二

ノ

ノウゼンハレン　一七五
ノマメ　七三
ノケシ　一四一
ノギク　七一
ノビル　一一七

ク

クロフネツヅジ　五一
クロゴマ　七二
クハ　六、四七、五〇、六六、八四
クリ　四七
クガイサウ　七二
クヌギ　四、一六四
クルマユリ　一四一
クルミ　四七
クヮリン　七一
クヮラウニン　七一
クヮラン　一七八
クヮソクカウ　七六
クヮクシツ　一八七、七五
クソジュ　一一
クズ　七一、一五五、一六一
ククリショウマ　七一
クサヲボ（ヲボチ見ヨ）

クサシヤクヤク　七一
クスノキ　一三二

ヤ

ヤクルマ　七二
ヤクサウ　六、九、二四、二六、六九、一三二、一一六
ヤクモサウ　七五
ヤクスギ　四七
ヤマハクカ　七三
ヤマトガキ　五〇
ヤマノイモ　一二二
ヤマクハ　一四一
ヤマアザミ　七二
ヤブニツケイ　一五二
ヤシ　七六、七七、一八六

マ

マチン　一四三
マリクソ　四〇
マルバフナハラ　七二
マルメロ　四三
マチ　七一
マソウ　一六一
マツ　一三二
マツハダ
マツナ
マツバラン
マツラニクケイ
マツラケイシン
マツソウチク
マンリヤウ　一二四
マンダラゲ（テウセンアサガホ）　七五
マンケイシ　五〇
マンサク　一二二

ケ

ケイマ　七二
ケイモ　一五二
ケシノヤニ　九四
ゲンクソ　一六〇
ゲンジン　四四、七三

フ

フトモモ　一八三
フヂマメ　五五
フヅクサ　一八〇
フツサウゲ　七一

アツジサウ　四四
「アラジリセヘープル」　一八四
「アラットバットス」　一八四
「アラスシエユール」　一七八
フウ　一八〇
フクレウサイ　一八二
フクジュサウ　一六四
アシ　七九、八一、九一、一二三
アンポサウ　一七八

コ

一五九

「コロイジイルメイニイト」（ミモサ）　一六七
「コロギイント」　一六七
ゴバンノアシ　一四一
ゴボク（五木）　九四
コガモト　一六〇
コソウレン　四四、七三
コウリンクヮ　一八三
コウワウサウ　五五
コウナンタイセイ　一八〇
コノテガシハ　七一
コケモモ　一三〇
コアシ　七一
コメンモウ　一四一
ゴミシ　四四
ゴシツ　七五
ゴシュユ　七三、一二九
コセウ　一五七、一七五
ゴゼンタチバナ　一三〇

エ

エイランタイ　一五九
エニスタ　五二
エノキ　三七
エゲサ　七五
エブリコ　一〇六、五一、一一三
エンレイサウ　一三〇
エンゴサク　四四、一二二
エンメイサウ　七三

テ

「テールコンチヨロ」　一八四
テイレキ　四四、七一
テツセン　五一
テウセンニンジン　六七、七三、七八、八二、八四、八七、八八、九〇、九三、一一九、一二三、一四五、一五八
テウセンソウバク　一一六
テウセンカサユリ　五二
テウセンツバキ　一八一
テウセンゴミシ　五五、一九六
テウセンアサガホ　一七四
テンヂクボタン　七〇
テンヂクソウ　五七
テンナンシヤウ　七五
テンシボタン　一八四

ア

アハボ　八四
アヘン　七一
「アリウム」　一三三、一三八、一四二、一四三、一四四、一四五
「アルマゾモクト」　一五〇
アカウ　一五三
アツモリサウ　一四四
「アナ、ス」　四四
アラセイトウ　一五
アヤシキキ　一七七
アマチヤ　五一
アマヅラ　五一
アマギク　五一
アブラナ　八四
アブラギリ　七一
アサガホ　一三三、一三八、一四二、一四三、一四四、一四五
アサガラ　一五〇
アサツキ　一一七
アギ　一四三
アシ（西湖産）　一八一
アスヒ　四七
「アンペラ」（貝多羅）　一四三
アンリヨシ　四四
アンラクヮ　八

サ

サイキ（シ、ウド）　一三〇
サイシン　七二
サハアザミ　一七八
「サルデリン」　五三、一五二
サカキ　一七七
サタウキビ　七八、七九、八〇、八九、九〇
サツマイモ　六七、五九、六〇、六二、八五一二三
サツキ　六九

サウトウクヮン 一一六
サウウヅ 七二
サウクヲ 一一六
サウケツメイ 一八〇
サウウヅ 七二
サウジュツ 七五、一七九
サウジン（シャジン） 一八九
サウモクフイリ 一二九
サクラ五三、八七、九二、九四、一二一
サクカウ 一七七
サクラサウ 一三二
サフラン 一一三
ササヤキクサ 七一
サキクサ 一五七
サンパクサウ 一八二
サンダンクヲ 四六
サンゴンコン 四四、一二二
サンゴサイ 六二
サンサウ（ナツメ） 一八〇、七三
サンキライ 七三
サンシチサウ 三九
サンシュユ 七三、一八〇
サンセウモ 一四一

キ

キダカクシ「キリイチイ」 一八〇
キリノキ 七二
キヨリウ 七五、一七九
ギヨクチンラン 一八九
ギヨクライ 一二九
ギヨクランクヲ 一七七
キヨシヤウシ（クロゴマ） 一三二
キレン 一一三
ギウヘン 七一、一三九、一六三
キノコ 一五七
キクバダヨチン 一八二
キク 四六
六五、六六、七二、九三、九五、一四〇、一五七
キヤラ 三七、四三、八二
キヤウチクタウ 一八三
キヤウヲウ 四四、一八一
キヤウクヲツ 七一、七二、一七九
キヤンチン 三九
キヤンシウ 五七
キケンシウ 一二九
キコク 四六
キキウ 七二
キキヤウ 四七
キスイセン 一五九
キンバイザサ 九七
キンパウ（オホゴテフ） 一七六
キンガウカン 一七六
キンゾクラン（チヤランチ見ヨ） 一八二
キンケイラン 一六五
キンゴシクヲ 七二
キンアウシ（ナニハイバラ） 四四
ギンザイコ 一八四
キンサンシコン 一八〇
キンシバイ 一七八
キンシダウ 四七
一五九
キンバイザサ 九七
キンパウ（オホゴテフ） 一七六
キンガウカン 一七六
キンゾクラン（チヤランチ見ヨ） 一八二
キンケイラン 一六五
キンゴシクヲ 七二
キンアウシ（ナニハイバラ） 四四
ギンザイコ 一八四
キンサンシコン 一八〇
キンシバイ 一七八
キンシダウ 四七
一〇四
キンバイザサ 九七
キンパウ（オホゴテフ） 一七六
キンガウカン 一七六
キンゾクラン（チヤランチ見ヨ） 一八二
キンケイラン 一六五
キンゴシクヲ 七二
キンアウシ（ナニハイバラ） 四四
ギンザイコ 一八四
キンサンシコン 一八〇
キンシバイ 一七八
キンシダウ 四七

ユ

ユヅリハ 一五二
「ユウリハ」 一八四
ユキヲリサウ 一三〇
ユキモチサウ 五七

メ

メドハギ 六四
「メコアカン」（オランダヒルガホ） 四六
メンテ（ハクカ） 七二

ミカヘリサウ 一四一
ミカン 一〇、五〇
ミツバツウレン 一三〇
ミツマタ 四〇
ミヅフデ 七二
ミヅヒキサウ 七〇
ミツモウクハ 四四
ミヤマハヽコ 一四一
ミモサ（オジキサウ）

シ

シバグリ 一四一
シホガマギク 一四一
シヘキチクボク 四七
シチヨウボク 四七
シカフラン 四七
シヨカツサイ 一七八
シヨウマ 六二、一八三
シヨクキ 四四、一七〇、七〇、七二
シヨクシュユ（カラスノサンセウ） 四四
シタン 四三、一七七
ジネンカウ 一八二
シラネニンジン 一八三
シラン（白芨） 九七、九八
シラン（紫蘭） 一二五、一八六
シウニヒトヘ 四五
シウカイドウ 一一九、一二三
シクンシ 一一九、一二三
シヤボテン 四四
シヤトウ（ヒギリ） 四四
シヤカン 一七五、一八六
シヤウリク 一〇八
シヤウラン 七一
シヤウブ 四四
シヤウザン 四四
シヤクナンエフ 七六
ジヤクロ 七九
シヤエンシツリ 一七〇
シヤクヤク 五二
シヤジン 五五
シダンジ 四四、一八一
シサウ 七二
シサウジヤウ 五〇
シキミ 七二
シキンカラマツ 一五二
シキンラン 一六五
シュロチク 一六〇
ジュズ子ノキ 一三〇
シュシヤウ（センチンボク） 一八〇
シャヾグ 一二〇
シャウド（キヤウクヲツ） 四五
シヒタゲ 一八〇
シンイ（コブシ） 一一九、一二三

ヒ

ヒハツ 四四
ヒルムシロ 四四
ヒカイ（オニトコロ） 一八〇
ヒレン（ホニノマユハキ） 七一
「ヒットリモス」 四四
「ヒツキレ」 四四
ビラウドラン 七六
ビラギツバキ 七二
ビラギナンテン 四七、一九三
ヒノキ 四四、七五
ヒノキツバキ 七二
ビヤクダン 五〇
ビヤクレン 七二
ビヤクブ 一五二

ビヤクキウ（シラン）　七一
ビヤクシニン　九、七一
ビヤクジュツ　四四、七二
ビヤクビ　五三
ヒヤクサイニンジン　一八四
「ヒヤシント」　一七五
「ビデンス」　一八三
ヒギリ　七三
ヒキチコシ　一四一
ヒメハギ　五五、一八二
ビジンシヤウ　一一六、一八六、一三四
ビンラウジ　一四一、一八四
「ピンプル子ル」
モ
モヂヅリ　一四一
モチノキ　四七
モダマヅル　一五三
モウソウチク（マウソウチク）　七一、七二
モクカウ　八四、一八〇
モククワクヮ　一八三
モクツウ　七五
モクレンジ　五七
モクロ　七一
モクアダン（タコノキ）　一八〇
モクメン（バンヤ）　一六四、一六五
モメン　一三、二四、五〇、八四
モミヂ　五七
セ
セイカウ　一八四
セイメンニガレイ　七三
セイメンヘステチイ　一四一
セイメンヘニクレ　五五、一八二
セイメンカルトエベ子テキテ　一八六、一三四
セイメンカアルヘ　一四一、一八四
セイメンダウチイ
セイメンクミイ子　一四一
セイメンアネイシ　四七
セイメンアヒヨム　一五三
セイメンアミヨス
セイメンヒイトロセイリニ　七一、七二
セイメンエニスタ　八四、一八〇
セイジ　一八三
「セリヤアン」　七五
セリバウレン　五七
セカイサウ（ハクトウオウ）　一八〇
セツコウタイセイ　一六四、一六五
セキシヤウ　七一
セメンシイナ　七七、一八七
センニチサウ　五五
センニンサウ　七三
センコンシヤウ（シヤボテン）　四四
ゼンコ　五八
センジヤウイ子
ス
スイクヮ　二四
スイフヨウ　一八一
スイセンアヤメ（カブチコリス）　一八九
「ストリヤス」
スナクサ（カイキンシヤ）　一八四
「スコロス子ルチルト」　四七、一八七
スギ　四七
スモヽ
スズタケ　五五、一一三、一六〇、一八八

動物索引

イ
イハツバメ（岩燕）　一三七
イヌ（犬）　八
イツカクギヨ（一角魚）　一一三
イナムシ（蝗）　一五、八三
キノシ（猪）　五九
イギヨ（異魚）　四〇
イキタルツヤカウ　二四
ロ
ロイアルト　一〇九
ロバ（驢）　七
ハ
ハチ（蜂）　一五、一一七
ハラノムシ（蚘）　一八八
ハクチ（白雉）　七
ハクギウ（白牛）　一一八
ハクキヤウサン（白姜蠶）　七二
ニ
ニンギヨ（人魚）　七
ホ
ベニスヽメ（紅雀）　一三七
ベルシヤムマ（波斯馬）　八
ベツカウ（鼈甲）　一一三
ヘウ（豹）　一一、一五八、一九三
ヘビ（蛇）　一九二
ト
トラ（虎）　四〇
トウチウカサウ（冬蟲夏草）　二四
トクサラン　九〇
ドクキヤクハウ　一四一
トビ（鳶）
チ
リウコツ（龍骨）　一一、四〇
リヤウリ（鯪鯉）　八〇
リヤウタウノアナゴ　一七八
リンケイ　一四二
ヌ、ルヲ
オホカハホリ　六二
ヨ
ヨロヒアカ　一四三
タ
ホツトツセイ（臘胸臍）　六二
三八、三九、一二六
オムマ（牡馬）　七四
オウランウウタン（西洋人同）　一一四
一一八、一五九
オクリカンキリ（鋼蛞）　一四三
ワ
ワニ（鰐）　九〇
ワウレイバウ（黄鰧蜱）　一四一
カ
カイ（介）　九三、一二七、一三一
カイヘウ（海豹）　三八
カナノチル　一四三
カラス（鴉）　六二
カムリトリ　一一四
カキ（蠣）　五〇
カメ（龜）　四〇、一五九

タイマイ（玳瑁）　八九
ダチヤウ（鴕鳥）　一四三
タカ（鷹）　五、四六、六二
タヒ（鯛）　一九二

レソ

ソウケイ（鶺鶏）　一四三

ツ

ツル（鶴）　九〇

チ

子コ（猫）　六二、一五九
子ズミ（鼠）　一〇六

ナ

ナガスクヂラ（長須鯨）　一二六

ラ

ライチヤウ（雷鳥）　一一四
ライジウ（雷獣）　一〇二
ラツコ（臙虎）　四〇
ラクダ（駱駝）　七、八、一三一、一四七、一九六

ム

ムシ（蟲）　一三九

ウ

ウ（鵜）　六二
ウニコチル（一角）　一一三
ウヲ（魚）　一二七、一三七
ウグヒス（鶯）　一〇六
ウマ（馬）　八、二五、四六、七四、八九、九〇、一一五
ウサギウマ（驢）　七
ウシ（牛）　八

ノ

ノ子ズミ（野鼠）　一九三

ク

クリンカムイ　一九一
クヂラ（鯨）　九七、一〇六、一一二、一二六、一四六、一五五
クマ（熊）　四六、一三六
クジヤク（孔雀）　一四、三八

ヤ

ヤマアラシ（豪猪）　一〇五、一〇七

マ

マンバウ（滿方）　六五、九三、一〇〇

ケフ

フウチヤウ（風鳥）　一六七

コ

コバントリ（小判鳥）　六一
コガネムシ　一七二
コウラウン（紅羅ウン）　一六六
コウジヤク（紅雀）　一六七
コマ（駒）　四六
ゴンドウクヂラ　一四六
コンシイニイリエ　八三

エ

エメウ（食火鶏）　五〇、一一四

テ

テウセンウハミ（朝鮮鯣蛇）　一五九
テウセンキッ（朝鮮雉子）　六七
テフ（蝶）　一五

ア

アリノタフ（蟻蛭）　一六〇
アカカラス（赤烏）　八
アウム（鸚鵡）　一四、三八、四〇
アザラシ（海豹）　三八

サ

サル（猿）　八、一三七
ザウ（象）　八〇、八二、一四〇、一九六
サメ（鮫）　一四四
サンゴ（珊瑚）　二三

キ

キジ（雉）　六七、七
キス（鯖）　一〇四
キンケイ（金雞）　六七
キンバラ　一六七
キンキ（金龜）　一五九
キンギョ（金魚）　二二、九二
キンメウ（金猫）　一五九
キンセンヘウ（金錢豹）　一五八

ユメ

メンヤウ（綿羊）　一四四

ミ

ミイラ（木乃伊）　一一三
ミヤコドリ（都鳥）　一四二

シ

シカ（鹿）　四三、五〇
シソクノニハトリ（四足雞）　一五八
シグマ（熊）　一一
ジヤガタラウマ（咬嚙吧馬）　一〇八
ジヤカウ子コ（靈貓）　一二〇
ジヤカウシカ（麝）　二四、一四三
シヤコ（車渠）　一四一
シヽ（獅子）　一九七
シンシュ（眞珠）　六

ヒ

ヒツジ（羊）　七、六七
ヒクヒトリ（食火雞）　五〇、一一四、一一六、一四三、一七〇

モ

「モルモツト」　一七五

セス

スタカ（巢鷹）　四六

雜索引

醫法　四、五、七、二二
醫學館　一〇一、一一七、一二一、一二五
濟壽館　一〇一、一〇三
典藥寮　九、一四、二二
大學　九
國學　九
本草　五、九、一二、二〇、二一、二三、二四、三八、七〇、一一九、一二一
漢學　五、十一
博士　六、一一、二一
和蘭本草　三〇、三一、九八
藥園師　九
藥園生　九
藥園　九、一四、二二、二四、四五、五三、五四、五六、七〇、七三、七四、一一六、一二五、一三九、一四四
一四七
白山御殿　四八、五九、六四、七〇
吹上花苑　四〇、四二、六二、五六、六七
官園　五三、一一六
藥殿　二二
隅田川花園　一三一
藥院　二二
藥草植場　一三二
製藥所　一一九
藥局　一二八
藥獵　七、八
藥園署　一一〇
採藥使　五三、六八、六九、七三、七四、七五、七七、七九、八〇、八一、八二、八九、一一六、一二七、一三八、一五九
向島花屋敷　一五
物産會　二六、九六、九七、九九、一〇〇
藥品會　一一一、一一四
四四
詩經草木會　一四一
珍卉會　一六四
赭鞳會　一七二
產物會　一六九
蘭學會　一二二
博物會　一九四、一九五
本草會　一五四、一六三
奇物會　一五六
品評會　一三三、一四三
朝顏　一四二
梅花　一四〇
菊花　一三二
櫻草　一四五
柑橘　一八六
柿　一七〇
天鷲絨園　一六九、一七〇
錦蘭　一三八、一五九
萬年青　一五
冷泉院　四二、四三、四七
先聖殿

以上ノ諸索引ハ總テ一頁ヨリ百九十七頁マデノ事項ヲ蒐錄ス百九十八頁以下ハ後ニ附錄セシモノ故ニ此索引ニ洩レタリ

金石索引

イ

イハツヽイシ　八八
イヲウ　一〇
イシバイ　一二四
イシワタ　一〇〇、一〇二、一四八
イシノチ　一五

ロ

ロウハ　三八
ロクシヤウ　一〇、一〇二

ハ

バウセウ　九九、一二
ハクハン　一〇
ハクラウ（スゞ）
ハクギン（ギン）
ハクシメナウ　二三
ハクセキエイ　一〇、一二九
バンセキ　一〇

ニ

ニシギテノセキシヨクガンリヤウ　八二

ホ

ボクセウ　一二

ヘ

ヘツカフイシ　一二四

ト

ドインケツ
ドウ（アカヾ子）
ウウクワウ
ドンイン

チリヌルヲワ

ワウハンセキ　一〇
ワウタンワウゴン　七一
一一、三六、三七、三八、四一、一〇二

カ

カツラ子イシ　八八
カンスイセキ

七一、一〇二、一二一

ヨタ

タウシヤク　一二

レソ

ゾクセキ（ヤノ子イシ）　七〇

ツネナ

ナマリ　四〇、四六、一〇二

ラ

ライフ　七〇

ム

ムラサキイシ　一二九

ウ

ウンモ　一〇

キノオク

クハセキ　二三
クハモンセキ　一二二
クンロク　四〇

ヤ
ヤキシホ 五
マ
マソホ 九
ケフコ
コンシヤウ 二一、一〇
エテ
テツ 五
ア
アラガ子 九
アカイシ 一二二
アカガ子 九、一〇
アサクマイシ 八八
サ
サラサイシ 一二一
キ
キラ（サンモ） 一六七
キグメイセキ 一〇、七九、一〇二
ギン 八、九、四〇、三六、三七、一〇二
キン（ワウゴン） 七五、九
キンクワウ 九、一〇
キンシヤウ
ユ
ユウワウ 九
メ
ミヅコシイシ 五
ミヅミカゲイシ
ミヤウバン
シ
シワウ 九
シヤキン 一二二
シユシヤ 九、一〇
ジシヤク 八八
ジンシヤ
ジンシュ（眞朱） 一〇二
エ
ヒ（アラガ子） 八二
ビイドロ
モ
モエルツチ 九
セ
セイハンセキ 一〇
セツセキ
セキイワウ
セキヤク 一〇
セキシヤウニウ 八八
セキヒン 八八
ス
スイギン 九
スイシヤウ 四一
スバ 一〇

書名索引

イ、ヰ

イハウセンヨウ（醫方選要） 四五
イハンテイカウドウバンヅ（醫範提綱銅版圖） 一三四
イガクセイデン（醫學正傳） 四五
イカセンジモン（醫家千字文） 二二
イガンサイバイヒン（怡顏齋梅品） 九八
イガンサイチクヒン（竹品） 六七
イガンサイアウヒン（櫻品） 九七
イガンサイカイヒン（介品） 九七
イガンサイタイヒン（苔品） 九七
イガンサイキンヒン（菌品） 九九
イッポンダウヤクセン（一本堂藥選） 八一、八五
同　ゾクヘン（同續篇） 八八
イツカクカウ（一角考） 九一
イツカクサンカウ（一角纂考） 一一三、一二三
イナゴクサ（蝗草） 五六
イウドクサウモクヅセツ（有毒草木圖說） 一五三
イウシ（魷志） 一八八
イコクサウモククワイモクロク（異國草木會目錄） 一七七
イテイボンサウキヤウ（醫梯本草經） 一〇五
イサナトリエコトバ（勇魚取繪詞） 一五五
イシヨ（醫書） 六
イシンパウ（醫心方） 二一、一九四
イモヒヤクチン（甘藷百珍） 一一五
イ（ヰ）ンシヤウエンバイフ（韻勝園梅譜） 一三九

ロ

ロコウセウヤクヒンタウ（呂宏昭藥品答） 一五四、一一五
ロクダイシユウエンキウヅ（六大洲圓球圖） 一三〇
ロクプツシンシ（六物新誌） 一一三
ロクヒヤクカイヒン（六百介品） 一六五
ロンゴ（論語） 五

ハ

ハイカイタシキヘン（俳諧多識編） 一五四
ハイカイナノシヨリ（俳諧名志折） 一一〇、一三四
ハイカイシキヅカウ（俳諧四季圖考） 一七四
バイヤウヒヨク（培養秘錄） 一一二
バイフ（梅譜） 一五七
バイヒン（梅品） 九八
ハチジウイチナンキヤウ（八十一難經） 二一
バリヤウショ（馬療書） 八二
ハルノナヽクサカウ（春野七草考） 一四〇

ハナシヤウブバイヤウセツ(花菖蒲培養說)二七七、二八七
ハウチウヒヨウワミヤウホンザウ(庖厨備用和名本草)五二
ハウシヤサツヨウ(炮炙撮要)二四
ハウヒロン(放屁論)一〇三
ハクライグワンキンイチラン(舶來玩禽一覽)一八六
ハクライシヨサンカイセツシチシウデウ(舶來諸產解說七十條)一三一
ハクギウラクカウ(白牛酪考)一一八
ハクシヤウクハフ(舶上花譜)一七五
バンパウヒジキ(萬寶鄙事記)六二
バンコクチヅ(萬國地圖)三三
バンコクワンキ(萬國管窺)四六、一一六
バンコクシンワ(萬國新話)一一五
バンショロク(蕃藷錄)六七
バンショカウ(蕃藷考)一四九
バンスイヤク(磐水夜話)一二七

二

ニチヨウホンザウ(日用本草)四
ニチヨウジヨシヨクカマドノニギハヒ(日用助食竈賑)一六六
ニチヨウヤクヒンカウ(日用藥品考)一三九
ニチヨウヤクセイノウドク(日用藥性能毒)二三
ニチヨウシヨクシヤウ(日用食性)五三
ニツポンイウヨウシヨクブツモクロク(日本有用植物目錄)一五二
ニツポンヨチロテイセンヅ(日本輿地路程全圖)三三
ニツポンダイワワカウ(日本大黃考)一九二
ニツポンコクゲンザイショモクロク(日本國現在書目錄)一五
ニツポンサンカイメイブツヅエ(日本山海名物圖繪)一一八
ニツポンサンカイメイサンヅエ(日本山海名產圖繪)一二四
ニツポンメイバカウ(日本名馬考)八九
ニツポンシヤクミヤウ(日本釋名)六〇
ニツトウセイシンハツキ(日東製塗發揮)八七
ニツクワウサイヒンロク(日光採品錄)九六
ニツクワウサウモクヅ(日光草木圖)一四八
ニツクワウメイシヨウキ(日光名勝記)一五〇
ニアツカウ(二物考)六五
ニシキランスマウミタテ(錦蘭相機見立)一六六
ニンジンルキシウ(人參類集)一六九
ニンジンカウ(人參攷)九五
ニンジンカウ(人參考)一〇四
ニンジンカウサクキ(人參耕作記)九一、九八

ニンジンプ(人參譜)七八、八七
ニンジンゴンヅヤウシヨ(人參言上書)九〇、九四
ニンジンデン(人參傳)八四
ニンジンシキ(人參識)一六三

ホ

ホト、ギスヅセツ(ホト、ギス圖說)一七一
ホクイカウシヨウ(北夷考證)一三五
ホクシヨ(卜書)六
ボダイジユノベン(菩提樹之辨)一〇八
ホタウヅセツ(蒲桃圖說)一五四
ボタンカヽミ(牡丹鑑)五六
ボタンミチシルベ(牡丹道しるべ)六〇
ホンテウイカウ(本朝醫考)五六
ホンテウショクカン(本朝食鑑)五八
ホンテウイダン(本朝醫談)一四七
ホンザウ(本草)一、二、五、九、一一、一二
ホンザウキカウ(本草彙考)一五八
ホンザウベンギ(本草辨疑)一五四
ホンザウワダン(本草和談)八三
ホンサウワクモン(本草或問)八八
ホンサウワミヤウシヤクギ(本草和名釋義)二〇、一二四
ホンザウワミヤウ(本草和名)一四五
ホンサウガク(本草學)一、五、九、一二、二〇、二四
ホンサウカウモク(本草綱目)三八、五二、六五、一一七、一一八
ホンサウカウモクワミヤウモクロク(本草綱目和名目錄)五四
ホンサウカウモクホブツヒンモクロク(本草綱目補物品目錄)九三
ホンザウカウモクワイドクセン(本草綱目會讀筌)一〇四
ホンザウカウモクケイモウ(本草綱目啓蒙)一七六、一八六、二三一、一五五
ホンザウカウモクケイモウヅフ(本草啓蒙圖譜)一八八
ホンサウカウモクシモウ(本草綱目示蒙)一二三
ホンサウカウモクケイモウメイソ(本草啓蒙名疏)一三六
ホンサウカウモクサンソ(本草綱目纂疏)一二五、一二八、一六二
ホンサウヨウセイ(本草要正)一九五
ホンサウヅヨク(本草圖翼)六五
ホンサウヅフ(本草圖譜)一五四、一五六、一五七、一七三、一七二、一七一、一七〇、一六七、一六五、一六四
ホンサウツウカン(本草通串)八三
ホンサウツウカンショウヅ(本草通串圖)一九三
ホンサウヅセツ(本草圖說)一四五
ホンサウカクワイブツヒンモクロク(本草會物品)一八九

目錄）一六四
ホンサウヤクミヤウビカウ（本草藥名備考）五四
ホンサウヤクミヤウビカウヲクンシヤウ（本草藥名備考和訓鈔）一三四、一五八、一〇五
ホンサウコウキン（本草喉襟）一七一
ホンサウコギシヤウイ（本草古義拾遺）一四八
ホンサウエンギ（本草衍義）五九
ホンサウテキヨウ（本草摘要）一九四
ホンサウキヤウヤクミヤウカウ（本草經藥名考）四五
ホンザウヅヨレイシヤウ（本草序例抄）八〇
ホンザウビヨウ（本草備要）一〇三
ホンザウヒン非（本草品彙）一〇七
ホンサウセイクヲ（本草正譌）一八八
ホンサウセイギ（本草精義）一〇八
ホンサウセイセイクヲ（本草正正譌）一二八
ホンサウセン（本草筌）

ヘ

ベイトクヌカヲラモミモチキカタケウリンドウジミチシルベ（米德樽藥賴用方教訓童子道知邊）一九四
ヘイクヲケツヒヤウ（瓶花月表）一四八
ヘイテンギヴカイ（平天儀圖解）一三〇
ベイサイシンショ（賑災新書）八五

ペンホンザウノミチ（辯本草之道）一四〇
ベンブツサンノミチ（辯物產之道）一四〇
ベンサウヨロン（辯草餘論）一二三
ヘンギヨクロクハチホンサウ（片玉六八本草）一〇九

ト

トリカヒバンエキシウ（鳥飼萬益集）六七
トネリコヅセツ（秦皮圖說）一六九
トウイホウカン（東醫寶鑑）七四
トウトイハヒバナヨセトリグミ（東都岩檜葉名寄取組）一七五
トウトユウランハヤカバミ（東都遊覽早鑑）一四二
トウカイダウブンケンノヅ（東海道分間之圖）五七
トウタツキカウ（東韃紀行）一三五
トウゲンイジ（桃源遺事）六〇
トウユウキシヤウ（東遊紀勝）一二七
ドクシヨクメキ（動植名彙）五七
ドクシヨシヅブツサングヲイセンモグ（讀書室物產會品目）一九五
トヤマハンヤクヒンクヲイモクロク（富山藩藥品會目錄）一九〇
トシヤベン（土性辯）七六
トシンカウ（土參考）一六八
トンカウハウジユツ（遁甲方術）七

チトセノトモ（千歲之友）一六五
チヨボクカウ（椿木考）一六六
ヂヨクヲウロク（除蝗錄）一七六
チヨミグサ（千代見草）六〇
チヅ（地圖）三三
チウカン（蟲鑑）三六
チウフヅセツ（蟲譜圖說）一九一
チウザンデンシンロクブツサンカウ（中山傳錄物產考）六八
チウサンサウモク（中山草木）一〇三
チクフシヤウロク（竹譜詳錄）一五四
チグサノネザシ（千種の根さし）九六
チクジツキ（竹實記）一五七
チクゼンナヨセ（筑前名寄）一五九
チヤウインコスイシヤウ（鳥韻鼓吹抄）五八
チヤウバウサンブツナヨセ（長防產物名寄）一〇六
ヂウテイホンサウカウモクケイモウ（重訂本草綱目啓蒙）八七
ヂウテイカトンダン（重訂河豚談）一八六
ヂヤウキヤウレキ（眞享曆）一五六
チヤウジヤウシヤウシクワイ（張城尙齒會）一五五
一一〇

チヤウジウホンサウカウモクケイモウ（重修本草綱目啓蒙）一七六
チヤウセイクヲリンシヤウ（長生花林抄）八四
チヤウセイサウ（長生草）一六四
チキウハンキウヅ（地球半球圖）一一八
チキウセンヅリヤクセツ（地球全圖略說）一二〇
チキンシヤウフロク（地錦抄附錄）八四
ヂシンヨバウセツ（地震豫防說）一九一
チンクハコウハウカン（珍貨孔方鑑）八一
チンキヅセツ（珍卉圖說）一六四
チンシ（鴆史）一七〇
チンシンセンサイヤクロク（陳振先採藥錄）六九
チンセンヅロク（珍錢圖錄）一六九

リ

リウキウコクシリヤク（琉球國志略）九八
リウキウサンブツシ（琉球產物誌）一五九
リウキウヒヤクハフ（琉球百花譜）一〇四
リクシサウモクヅカイ（陸氏艸木疏圖解）一二八
リヤウバシヨ（療馬集）一〇九
リヤウバシヨ（療馬書）七五
リヤウゴホンサウ（兩國本草）七六
レキエンヒヤクキクフ（靨園百菊譜）八七
九六

ヌ、ル、ヲ

チハラシブツサンコウキンロク（小原氏物産公勤錄） 一六九
オハヤシカタシヤクシメシゲシ（御林方尺ヶ仕出） 一六九
オトギバナシ（御伽話） 一一六
オツトセイリヨウノゾ（膃肭臍獵之圖） 一二六
オランダホンサウ（阿蘭陀本草） 八二
オランダホンザウワカイ（和蘭本草和解） 九八
オランダコウモウリウゲクハヒヨウ（和蘭紅毛流外科秘要） 四八
オランダサンブヅカウ（和蘭產物圖考） 一二四
チクロウドウクハフ（屋漏堂花譜） 一三六
チヤクサウゴヨウツトメガキ（御藥草御用勤書） 九四
チンコサイブシベン（溫古齋附子辯） 一二三
チンコサイゴズイハン（溫古齋五瑞篇） 一二三
チンコサイシンシ（溫古齋筏志） 一二三
チンコサイキンプ（溫古齋菌譜）

ワ

ワカシヨクモツホンサウ（和歌食物本草） 四二、四五
ワカンニチヨウハウブツリヤク（和漢日用方物畧） 一八八
ワカンニンジンカウ（和漢人侵考） 九一、九三
ワカンサンサイヅエ（和漢三才圖繪） 六四
ワランヤクキヤウ（和蘭藥鏡） 一五五
ワウヨギヨヅサン（王餘魚圖纂） 一四六
ワヤクカウ（倭藥考） 一一一
ワゴホンザウカウモク（和語本草綱目） 五九
ワサンモクロク（和產目錄） 一〇四
ワギヨクハン（倭玉篇） 四五
ワミヤウルイジウシヤウ（和名類聚抄） 二一、四一、四七、五一、五二、五六、五七、一二六
ワミヤウシウナラビニイミヤウセイザイキ（和名集並異名製劑記） 四二
ワミヤウホンサウ（倭名本草） 一一二、一四三
ワミヤウシヤウ（和名抄）和名類聚抄ヲ見ヨ
ワミヤウシヤウソクモン（和名抄塞間） 一五二
ワジカイ（和字解） 六〇、九二、一七四

カ

カイイウダン（海鮑談） 一二六
カイハクライキンツキ（海舶來禽圖彙） 一二〇
カイダイハウブツキリヤク（海內方物紀略） 一三四
カイヅクシウラノニシキ（貝盡浦の錦） 九三
カイフ（介譜） 一九三
カイコクヘイダン（海國兵談） 一一九

カイサクヅ（海錯圖） 一〇六
カイシヘン（解屍編） 一〇五
カハウチクヤウキ（家蜂蓄養記） 一一七
カガクシウ（下學集） 二二
カラフトサウモクヅ（蝦夷草木圖） 一二五
カウチツミヤクキヤウ（甲乙脈經） 一一
カウサウギヨヅサン（紅鮫魚圖纂） 一四四
カウサクハナシ（耕作談） 一〇七
カ（コ）ウセイイチラン（侯鯖一臠） 一七四
カクチルイヘン（格致類編） 一八七
カクブツサゲン（格物鑛言） 一五九
カフスントウサウサイヤクキ（甲駿豆相採藥記） 一二九
カサウエンズイヒツ（嘉草園隨筆） 一一七
カキヒン（柿品） 一八六
カシウサンブツシ（加州產物誌） 八七
カセキシヤウ（暇積抄） 一六二
カセンヒヤクキンシウ（歇仙百錦集） 一一一
カンノウコホンロク（勸農固本錄） 七七
カンデンジヒツ（閑田次筆） 一二〇
カンキツカウ（柑橘考） 六二
カンシヨカウ（甘藷考） 九〇
カンシヨサクハウ（甘藷作法） 一三〇
カンシヨキ（甘諸記） 八五、九一
カンシヨヒヤクチン（甘諸百珍） 一一五
カ（クヽ）ンエンヨロク（灌園餘錄） 一五五
カンセキ（漢籍） 二〇、五

ヨ

ヨウヤクスウチ（用藥須知） 七八
ヨウヤクスウチゾクヘン（用藥須知續篇） 一〇七
ヨウヤクスウチコウヘン（用藥須知後篇） 九七
ヨウヤクスウチコウヘンセイゴ（用藥須知後篇正誤） 九八、一〇三
ヨウシウフシ（雍州府志） 五六
ヨシツヤマサクラツエ（芳野山櫻圖繪） 六四

タ

タイニツポンエンカイジツソクヅ（大日本沿海實測圖） 三三
タイヘイクワクフ（大平鵬譜） 九〇
ダイドウルイシウハウ（大同類聚方） 一三、一〇五
ダイガクワクモン（大學或問） 五七
ダイゼウイチラン（大藏一覽） 四〇
タイセイホンサウメイソ（泰西本草名疏） 一五五
タチバナヒンルイカウ（橘品類考） 一二五
タウトウイヒツ（桃洞遺筆） 一六一
タウチヤウモヽチトリ（唐鳥秘傳百千鳥） 一〇五
タウヱキヘンギヨクホンサウ（湯液片玉本草） 五五

タクダカウ（藁駄考）　一四九
タクダヤクセツ（藁駄譯說）　一五〇
タシキヘン（多識篇）　三九

レ

レイギルイテン（禮儀類典）　六四
レキホン（曆本）　六、七
レキボクベン（歷木辨）　一六四
レキダイメイイチラン（歷代名醫一覽）　一一四
レキシヤウシンショ（曆象新書）　一二六
レンシユシカクメイブッカウ（聯珠詩格名物考）　一五六

ソ

ソホウロン（素封論）　一二五
ゾウホニンジンカウサクキ（增補人參耕作記）　一〇一
ゾウホチキンシヤウ（增補地錦抄）　六三
ゾウホタウシヨキンモウヅキ（增補頭書訓蒙圖彙）　一一六
ゾウホレキダイメイキヅ（增補歷代名醫圖）　九一
ゾウホクワダンタイゼン（增補花壇大全）　一四〇
ゾウホクハイツウシヤウカウ（增補華夷通商考）　六三
ゾウホテイタハツモウ（增補手版發蒙）　一四八
ゾクブンケンツウカウ（續文獻通考）　九〇
ソマヤハウシキチヤウ（杣山法式帳）　八七
ソマヤマソウケイデウデヲ（杣山惣計條々）　九二
ソマヤマシヅキ（杣山仕次）　九一
ソユウジユウシ（逍遊從之）　一三〇
ソシヨクホシエゾサ（麁食敎草）　一六二
ソモン（素問）　一一

ツ

ツボノイシブミカウシヤウ（坪碑考證）　一一二
ヅカイホンサウ（圖解本草）　六六
ツヽジフ（躑躅譜）　一六六
ツウシコンチウサウモクリヤク（通史昆蟲草本略）　一一三
ツキヤマテイサウデン（築山庭造傳）　八六
ヅシヨヘン（圖書編）　九〇
ヅシウシヨタウサンブツヅセツ（豆州諸嶋產物圖說）　一三五、一二〇

テ

テンテンサンピツ（年々歲筆）　一八九

ト

ナイゲワイテンヤクシヨ（內外典藥書）　六
ナニハブツサンクワイモクロク（浪花物產會目錄）　九九
ナンカイハウフ（南海包譜）　一四五、一九七
ナンキトサンカウ（南紀土產考）　一三九
ナヽクサヲカナカウ（七種若菜考）　一〇二
ナギサノニシキ（渚ノ丹數）　一三一
ナスキ（那須記）　五五
ナンハウカイタウシ（南方海島志）　一一七
ナンパウサウモクシヤウ（南方草木狀）　七八

ラ

ライチヤウカウ（雷鳥考）　一一四
ライシンキ（雷震記）　一〇二、一〇三
ラウノウサツ（老農茶話）　一三二
ラウクハベン（弄花辯）　一一〇
ラククン（樂訓）　六三
ランヤクキヤウゲン（蘭藥鏡源）　一三四
ランエンテキハウ（蘭畹摘芳）　一四三
ランセツベンヲク（蘭說辨惑）　一一五

ム

ムニンタウダンヲ（無人島談話）　一二五
ムシカヽミ（蟲鑑）　一三六
ムスイチカダカイビヤクハウ（無水岡田開圃法）　一九四

ウ

ウロクイエン（雨露慧苑）　六二
ウチツリテビキゲサ（魚釣手引草）　一八八
ウヅラショ（鷃書）　四七
ウゲヒスカウ（鷲考）　一七二
ウゲヒスカヒヤックデンショ（鷲飼樣口傳書）　一八七
ウゲヒスノシヤウハウ（鷲ノ飼養法）　一四五、一〇六
ウミカハショギヨシヤウチウシカン（海川諸魚掌中市監）　一六六
ウミノサチ（海幸）　九九
ウスイシカウ（臼石考）　一〇六
ウンコンシ（雲根志）　一〇二、一二九
ウンコンシコウヘン（同後篇）　一〇九

ノ

ノチノハナ（後之花）　六五
ノウドクセイハウミヤクソカシウ（能毒製法脈和歌集）　四八
ノウカログ（農稼錄）　一五一
ノウカゲウジ（農稼業事）　一五八、一四一
ノウカコヽロエゾサ（農家心得草）　一七五、一六三
ノウカエキ（農家益）　一三〇
ノウカエキコウヘン（農家益後篇）　一三八
ノウゲンリロン（農具便利論）　一四八
ノウゲフゼンショ（農業全書）　五九、一四二、一一四

ノウゲギヨダン（農際餘談）一一一
ノウキヤウカウギ（農經講義）一二二
ノウゲフジトク（農業自得）一九二
ノウシユツカンシヤウキ（農術鑑正記）七六
ノウシユツクワエキロク（農術廣益錄）一四一
ノウカスウチ（農家須知）一七一

ク

クハダンアサカボツウ（花壇朝顏通）一四二
クハダンヂキンシヤウ（花壇地錦抄）五八
クハキ（花彙）一〇二、一三八
クハダンカウモク（花壇綱目）五五
クハダンヤウキクシユウ（花壇養菊集）六六
クハダンシヤウ（花壇抄）一五
クハフ（花譜）五八、六〇
クワイチウシヨクシヤウ（懷中食性）一八六
クワイセキシ（怪石志）一二三
クワレキヒヤクエイ（花曆百詠）一四九
クワヅ（花圖）一五〇
クワヅツヅミヤウルキジウシヤウ（活字和名類聚抄）四一
クワウワギヨフ（皇和魚譜）一六八
クワウワシンケイホンサウ（皇和眞形本草）一九二
クワウワジンフ（皇和尊譜）一六三
クワウネンジウリヤウシ（荒年充糧志）一六一
クワウヤマトホンサウ（廣大和本草）九五
クワウコクメイデン（皇國名醫傳）一八九
クワウシンピン（廣參品）九六
クワウシンセツ（廣參說）一三八
クワウエキホンサウタイセイ（廣益本草大成）五九
クワウエキチキンシヤウ（廣益地錦抄）六七
クワウエキコクサンカウ（廣益國產考）一七六
クワウシヨブツルイサン（廣庶物類纂）一九三
クワウワンブリヤクセツ（火院布略說）一〇〇、一〇二
クワウゲイゾセツ（獲鯨圖說）一〇六
クワウシツカウ（鷁鷁考）一八七
クワウヤウヒサカ（華陽皮相）一一五
クハシンプウ（花信風）一二一
クワンエンヨロク（灌園餘錄）一五五
クワンクワイショクキヤウ（卷懷食鏡）一〇三、一六六
クワンコキゼツダヤウ（觀古雜咕）一七三
クワンコキ（觀虎記）一九三
グンカイヒンキ（群介品彙）一六五
グンメイカウ（郡名考）一〇〇
グンショヂヨウ（群書治要）四〇

ヤ

ヤウアウベン（養鷁辨）一四五
ヤウソタマノカケハシ（養鼠玉のかけはし）一〇六
ヤウナンヤウセツ（養雛養說）一五七
ヤクラウホンサウ（藥籠本草）八一
ヤクホヅサン（藥圃圖纂）七四
ヤクホキツヨ（藥圃撰餘）一六二
ヤクブツゾクメイシウ（藥物俗名集）一六二
ヤクサウリヤクフ（藥草略譜）一六二
ヤクキヤウタイソ（藥經大素）一一七
ヤクメイハヤビキ（藥名早引）一一三
ヤクシユモクロク（藥種目錄）一六五
ヤクシヨルキ（藥書類）五七
ヤクヒンメイメイシウ（藥品異名集）六
ヤクヒンベンロク（藥品辨惑）一六二
ヤクヒンクヲ井モクロク（藥品會目錄）九四
ヤクシヤウトウ（藥性燈）一六二
ヤクシヤウトウゲン（藥性討源）一四一
ヤマトホンザウ（大和本草）一四四
ヤマトホンザウキブン（大和本草記聞）六二、六三、六六
ヤママユヤウハウヒデンシヤウ（山繭養法秘傳抄）一一〇
ヤマブキヤウキボチヤウ（山奉行規模帳）一五三
ヤジンシサウ（野人私草）八七
一三七

マ

マルヤマキクタイクワキ（丸山菊大會）六七
マガダマカウ（勾玉考）一〇六
マツバランプ（松葉蘭譜）一五七
マウシメイブツゾセツ（毛詩名物圖說）八一
マウシヒンブツゾコウ（毛詩品物圖攷）七四
マンエフメイブツカウ（萬葉名物考）一六二
マンエフヒンルイシヤウ（萬葉品類抄）一六二
マンビヤウクワイシュン（萬病回春）一一七
一一三

ミ

ケイカイゾコウシ（桂海虞衡志）一四〇
ケイガシヤシンサウ（慶賀寫眞草）一六六
ケイテンコクメイカウ（經典穀名考）一六二
ケイサイサンヨウゼンシウ（經濟彙要前集後集續集）一五五
ケイシ（鯨志）八六、八八
ケイエンチクフ（桂園竹譜）九七、九八、一〇一
ケイエンキツプ（桂園橘譜）一五五
ケイピコクゲンシ（藝備國郡志）一八七
ケイモウチウフヅカイ（啓蒙蟲譜圖解）五六
ケイセイキヨサツシヤウ（經世居雜抄）一七三
ケツバウキヨベツシウ（結髦居別集）六八
ケツジロク（結髦錄）六五
ケイカイサウモクシ（桂海草木志）九七
七八

ゲクハセイソウヤクヒンイミヤウカウ（外科正宗藥品異名考）一六四
ケンバウエンホタウキ（研芳園蒲桃記）一五〇
ケンカゲウザツロク（兼葭堂雜錄）一〇〇、一九一
ケンコンベンセツ（乾坤辯說）四九
ケンギヤウデン（見宜翁傳）五五
ケンギウヒン（峯牛品）一四三
ケンビキヤウヨウハウ（顯微鏡用法）一三一

フ

フロラダヤホニカ（日木植物譜）一一二
ブツバウソウチヤウカウ（佛法僧鳥考）一一四
フトヤマノサチ（太山能散遲）一八七
フドキ（風土記）一〇
ブツルイサウカンシヘ（物類品隲）五六
ブツルキヒンヒツ（物類品隲）九九
ブツエホンサウ（物影本草）八九
ブツヒンサウ（物品識名）一三五
ブツピンシキメイ（物品識考）一三六
ブツピンシキメイシウ井（同拾遺）五〇
ブツピンモクロク（物品目錄）一〇四
フランスジウズ（佛蘭西獸圖）九七
フウゾクモンツヤウ（風俗問狀）一四三
フクサウカウ（福草考）一八八
フクシウフシブツザンベンラン（福州府志物產便覽）一六二
ブコウリヤクヅ（武江略圖）一五〇
ブコウサンブツシ（武江產物志）一五〇
フサウヒヤクキクフ（扶桑百菊譜）八五
フキウルイハウ（普救類方）八二
フジミジウサンシウツ（富士見十三州圖）三三
ブンジンシツヨウイロハポンサウ（文人必要以呂波本草）一六三

コ

コチウサンブツゼツ（湖中產物圖說）一四一
ゴチウシンショ（御注進書）七七
コリヤウナイサンブツトメ（御領內產物留）八七
コ（カ）ウチヨヅセツ（豪豬圖說）一〇五
コハウヤクヒンカウ（古方藥品考）一一七
コウコセウロク（好古小錄）四八
コウマウリウゲクケツヒヨウ（紅毛流外科秘要）一〇二
コウマウダン（紅毛談）一一四
コウマウザツワ（紅毛雜話）一二四
コ（カ）ウコニチロク（好古日錄）一三九
コウセイシンベン（厚生新編）九一
コクカキンギンセンフ（國家金銀錢譜）一五五
コクグンゼンヅ（國郡全圖）三三、一
コクシイゲンシヤウ（國史醫言鈔）一六三
コクシサウモクコンチウカウ（國史草木昆蟲考）一六二
コマバヤクエンサウモクロク（駒場藥園草木目錄）一三〇
ゴコクムジンザウ（五穀無盡藏）一一四
ココンエウランカウ（古今要覽稿）一四一、一七三
ココンヒヤクセンヅ（古今百錢圖）七〇
コギヨカウ（湖魚考）一四六
コキナイサンブツヅエ（五畿內產物圖會）一四一
コメイロク（古名錄）一九三
ゴシンカウ（五辛考）一一七
ゴヒヤクカイヅナラビニベンカイ（五百介圖並辯解）一一六
コンヤウマンロク（昆陽漫錄）一〇〇
コンヨガイキヤクカイ（坤輿外紀譯解）一八九

エ

エイゴセンカイテイ（英語箋楷梯）一九七
エイセイキヘン（衛生彙編）一四八
エホンノヤマニシキ（繪本野山錦）一三四
エホンノヤマクサ（繪本野山草）一三四
エホンフクヅユサウ（繪本福壽草）九五
エドメイシヨヅエ（江戶名所圖繪）三三
エドジツソクヅ（江戶實測圖）一四三
エチゴミヤゲ（越後土產）一九七
エゾカウテイキ（蝦夷行程記）九四
エゾサウモクヅ（蝦夷草木圖）一二七
エゾサウモクシリヤウ（蝦夷草木志料）一二七
エゾシ（蝦夷志）六八
エソシマキカン（蝦夷島奇觀）一二六
エツポシヨクモツホンサウ（閱甫食物本草）五一
エンロク（鷹錄）一三六
エンギシキテンヤクリヤウ（延喜式典藥寮）九
エンセイイハウメイブツカウ（遠西醫方名物考）一四七

テ

テイバウコウ井キシ（堤防滿潮志）一〇
テツクリシユハウ（手造酒法）一四〇
テツエンセウトク（鐵筵小牘）一三五
テキショクフ（蹢躅譜）六六
テンレイ（點例）六一
テンシユンヲンアウギヤウジ（田畯年中行事）一六八
テンモンシヨ（天文書）七、四三、四七
テンカイサツ（田家遺册）一一六

ア

アハヤコンキブン（淡路古今紀聞）一三六
アリマシ（有馬志）五六

アウフ（櫻譜）一九四
アサガホサウ（朝顔叢）一四三
アウセイキカウ（獻西記行）一九六
アサガホミヅカゞミ（牽牛花水鏡）一四五
アサガホフ（朝顔譜）一四四
アサガホヒン（牽牛品）一四三
アキハギノフ（秋萩譜）一〇六
アキノナゝクサカウ（秋野七草考）一四〇
アキノクニイツクシマシヤウケイヅ（安藝國嚴島勝景圖）五六

ザ

サイチンダウニツテキ（採珍堂日摘）一九一
サイカイゲイキ（西海鯨記）一〇一
サイランイダン（采覽異言）六五
サイフ（菜譜）六一、六五、一四二
サイギヨヅサン（菜魚圖纂）八八
サイヤグロク（採藥錄）一二三
サイヤクシキ（採藥使記）九四、九六
サイミンエウジユツ（齊民要術）二〇、八九
サイジロン（蔡崑論）六七
サイシンキリヤク（採參紀略）七八
サイセンニチウカウ（西仙二柱考）一七四
サドサイヤクキ（佐渡採藥記）九三
サドサンブツシ（佐渡產物志）八二
サダセイサクキ（砂糖製作記）一二四
サツフダンキ（册府元龜）九〇
サウノミツギ（巢のみつぎ）八一
サウクフシウ（插花集）一四九
サウクハエビシウ（草花繪前集）六〇
サウメイシウ（艸名集）一四七、一四八、一五四
サウモクベンキ（草木辯疑）九七
サウモクソダテグサ（草木育種）一四五、一六八
サウモクグヅセツ（草木圖說）一六〇、一九一
サウモクキヒンカゞミ（草木奇品家雅見）一五三
サウモクキンエフシウ（草木錦葉集）一五六、一六三
サウモクセイフ（草木性譜）一五三
サウセキモクロク（藏石目錄）一三九
サクラギカウ（櫻木考）九一
サンカイシヨヒン（山海庶品）一五七
サンブツヒツダン（產物筆談）九二
サンブツモクロク（產物目錄）八七
サンゴクツウランヅセツ（三國通覽圖說）三三、一一九
サンジウロクカセンカイアハセゲハフ（三十六歌仙貝合畫譜）一七三
サンジユカウ（三樹考）一五二

キ

ギヨカイノウドクヒンブツヅカウ（魚貝能毒品物圖考）一八七
ギヨソンイヂハウ（漁村維持法）一一〇
ギヨフ（魚譜）一五九
ギヨジンミチシルベ（漁人道しるべ）一〇四
キタノキクダイクワイ（北野菊大會）六七
キツヤクフ（木曾藥譜）九九
キソサイヤクキ（木曾採藥記）一三八
キソヂノキ（岐蘇路之記）六四
キツコウカンキ（橘黃閑記）一四二、一六二
キツヒン（橘品）一二四
キナンリクヂンシ（紀南六郡志）一六六
キノメノセツ（木芽之說）一五五
キクハダヘ（菊羽二重）六六
キクハロン（菊花論）九七
キクハダンヤシナヒヅサ（菊花壇養種）一八五
キクハダンクダン（菊花俗談）九三
キクケイ（菊經）九五
キクフ（菊譜）一五七
キウクワウホンサウ（救荒本草）六六、一一四、一二六
キウクワウホンザウバツスイ（救荒本草拔萃）一五五
キウクワウホンザウクントウ（救荒本草和訓燈）一二四
キウクワウホンザウツウカイ（救荒本草通解）一四三
キウクワホンザウケイモウ（救荒本草啓蒙）一七四
キウクワウホンザウリヤクセツ（救荒本草略說）一八八、一六八
キウクワウベンラン（救荒便覽）一六六、一八八
キウクワウヅフ（救荒圖譜）一八八
キウクワウヤフ（救荒野譜）二九、六六
キウクワウヤフホイ（救荒野譜補遺）六六
キウクワウヤフケイモウ（救荒野譜啓蒙）一八九
キウクワウマコノツエ（救荒孫之杖）一六八
キウクワウショクモツベンラン（救荒食物便覽）一六八、一三八
キウコシカクブツチヤウ（杉瓠子格物徵）一九〇
キサウセヅ（奇草小圖）一八五
キヤウカタバコヒヤクシュ（狂歌煙草百首）一七一
キヤウラウシヤコウヅセツ（無鄉射工圖說）六一
ギキンホンサウ（宜禁本草）一三〇
キシウサイヤクキ（紀州採藥記）一六六
キンガクサウモクシ（金嶽草木志）一五
キンランバウ（金蘭方）一五〇、一六三
キンプ（菌譜）一四九
キンプンザツロク（近間雜錄）九二、一八五
キンギヨヤウガンサツ（金魚養玩草）一三八
キンギンヅロク（金銀圖錄）一三九、一七〇
キンショロク（金薯錄）一二三
キンシキ（禽識）一四二

キンセイジュフ（金生樹譜）　一五八、一六一
キンモウヅキ（訓蒙圖彙）　五〇

ユ

ユイマキヤウ（維摩經）　一四
ユウシ（熊志）　一三六
ユフタケサイヤクキ（油布嶽採藥記）　一七一
ユサイロク（油菜錄）　一五六

メ

メイダウヅ（明堂圖）　六、一一
メイブツロクデフ（名物六帖）　六五
メイブツヤクロク（名物譯錄）　八六
メイブツセキコセウシキ（名物摭古小識）　一五八、一六二
メウギサンナラビニブシウミツミネサンサイヤクキ（妙義山並武州三峯山採藥記）　一三三
メサマシゲサ（目さまし草）　一四二
メンボエウム（綿圖要務）　一六二

モ

ミチノサチ（道之幸）　一一九
ミヨノメグミ（御代の惠）　一五九
ミヅナシチカダカイビヤクハウ（水無岡田開闢法）　一九四
ミヤクケツ（脈訣）　一二
ミヤコドリカウ（都鳥考）　一四二
ミヤビノシヲリ（みやびのしをり）　一六三
ミンカンビクワロク（民間備荒錄）　九六、一〇四、一六〇、一二四
ミンショナンサンシ（閩書南產志）　九三

シ

シホンザウ（詩本草）　一四五、一九三
シトウエンカウシヤウ（紫藤園考證）　一七六
シチシウニカウシンセン（七十二候新撰）　一七四
シチシウニカウチヤウジウサウモクリヤクカイ（七十二候鳥獸草木略解）　一四六
シカノウゲフダン（私家農業談）　一一五
ジガ（爾雅）　一三
シヨチキウヨアコドリ（諸鳥呼子鳥）　六三
シヨチヤウエジキモノチドリ（諸鳥餌食百千鳥）　一二八
シヨガクシハウ（初學詩法）　五四
シヨウマヅセツ（升麻圖說）　一七〇
シヨクリヤウセイヨウ（食療正要）　一〇三
シヨクガクドクゴ（植學獨語）　三〇
シヨクガクケイゲン（植學啓源）　一六二
シヨクヒンベンメイ（食品辯明）　九八

シヨクモツホンザウ（食物本草）　四八、五八
シヨクモツチシン（食物知新）　七八
シヨクモツワカホンサウザウホ（食物和歌本草增補）　五一
シヨクモツヒンエウ（食物品要）　五八
シヨヅルキサン（庶物類纂）六一、六七、八一、一三三
シヨヅルキサンヅヨク（庶物類纂圖翼）　一〇九
シヨコクハウダンブツルイシヤウコ（諸國方言物類稱呼）　一〇六
シヨコクトサンショ（諸國土產書）　五一
シヨコクサイヤクキ（諸國採藥記）　六八、八八
シヨシュウヤクフ（諸州藥譜）　一〇七
シタウエンカウシヤウ（紫藤園考證）　一七六
シヅモンホンサウ（質問本草）　一一〇、一六八
シヅモンホンサウイホン（質問本草異本）　一一〇
シウイコシンシウ（秋意古新集）　七九
シユハウタイヅサヘン（樂芳帶圖左編）　一三八
シウハウケンザツロク（樂芳軒雜錄）　一一五
シウチンホンサウケイ（袖珍本草筒）　一一五
シウチンホンサウケイホセイ（袖珍本草脩補正）　一一五
シウチンカベミ（袖珍鑑）　一九一
シウカイシヤウ（拾芥抄）　二二二
シウヤダン（秋夜談）　九三
シウコシユウシユ（集古十種）　三四、一二五
シウサンキヤウ（十三經）　一一
シウシュフケダン（周朱復言）　七八
シウヒンカウ（拾品考）野田青嵓　一二五
シウヒンカウ（拾品考）野田青嵓　一八八
シヤベンヨロク（赭鞭餘錄）　九九
シヨウルイホンザウ（證類本草）　二四、一〇三
セウエウマンロク（逍遙漫錄）　一三九
ジヤウヤサイヤクキ（常野採藥記）　一二九
ジヤウゲンホンサウ（上言本草）　九四
ジヤウジアフケンズイヒツ（將翁軒隨筆）　九四
シヤウヤクジサンクヲシウ（芍藥自讚花集）　一九三
シヤジンロン（沙參論）　六七
ジヤヒン（蛇品）　一九二
シフ（紙譜）　一〇八
ジサイヤクロク（自採藥錄）　五二
シキクサ（四季草）　一六八
シキヤウヅ（詩經圖）　五八、一一三
シキヤウメイブツヅカイ（詩經名物圖解）　一一八
シキヤウメイブツベンカイ（詩經名物辯解）　八三
シキヤウメイブツシウセイ（詩經名物集成）　一三五
シキヤウセウシ（詩經小識）　六三
シキシヤウクハシウ（四季賞花集）　一三三
ジユヅリヤクカイ（授時圖略解）　一三六

ジュツエンパウ（種樹園法）一七〇
ジュジュヒヨウ（種樹秘要）一三六
ジュモクハンシュハウハウ（樹木播種方法）九一
ジュンザダン（馴象談）八一
シュンシウナナクサ（春秋七草）一八九
シショシンチウ（四書新註）八九
シシウニコクジンブツヅ（四十二國人物圖）三六
シシンピヨウ（四診備要）六八
シンペンニチヨウショクシヤウ（新編日用食性）一八八
シンペンチクベイカウ（新編竹米考）五七
シンペンキシウフドキ（新編紀州風土記）一八八
シンペンムサシフドキ（新編武藏風土記）三二
シンノウホンギヤウ（神農本經）三二
一九、一二七、一九〇、一六二
シンノウホンキヤウカイコ（神農本經解故）一四三
シンノウホンキヤウチクダン（神農本經臆斷）一二三
シンクニエヅ（新國繪圖）五九
シンヤウキンプ（信陽菌譜）一二七
シンコクセンアタヒヅク（新刻古錢價付）一二八
シンエイホンサウ（眞影本草）一九二
シンキクナヘダイナヨセキ（新菊苗代名寄記）六六
シンキヤウ（針經）一一
シンゼシヨヤクカク（眞僞諸藥考）五二
シンピツキウシキ（信筆鳩識）一九三、一八六
シンヒヅセツ（秦皮圖說）一六九
シンシウボンサウ（新脩本草）一二、一九、二一、一七四
シンセイヒロク（參製秘錄）九三、一〇七
シンセンヤウサンヒショ（新撰養蠶秘書）九六
シンセンコセウカウ（新撰胡椒考）一五七
シンセンヅキヤウ（新撰字鏡）二〇
シンセンセンプ（新撰錢譜）一一六

ヒ

ビクウサウモクヅ（備荒草木圖）一〇四、一六二
ヒヤクバヒサウカウ（百馬皮相考）一六三
ヒヤクチヤウヅ（百鳥圖）一三七
ヒヤクチンヅ（百椿圖）四三
ヒヤクハツシヤウキ（百花和稱記）一四九
ヒヤクハツソンシンヅ（百花圖纂）一五八
ヒヤクハツサン（百花存眞圖）一六一
ヒヤクキンヅ（百禽圖）八七
ヒヤクシヤウフクロ（百姓袋）七〇
ヒヤクヒンカウ（百品考）一八六、一八九、一六九
ヒヤクヒンカウニヘンサンヘン（百品考二編三編）八八
ヒヤクセン（非藥選）九〇
ヒヤクセンガクカイ（百川學海）一一
ヒゴトノコヽロエ（日ごとの心得）一六一

ヒデンクハキヤウ（秘傳花鏡）八八、一〇六
ヒデンクハキヤウヰカイ（秘傳花鏡彙解）一八九、一七〇
ヒデンクハキヤウキブン（秘傳花鏡紀聞）一一一
ビキウハチヤクシンロン（備急八藥新論）一九二
ヒンブツルイシウ（品物類聚）一九二
ヒンブツカウシヤウ（品物考證）一九二
ヒンブツメイキ（品物名彙）一九三
ヒンジセン（品字箋）九〇

モ

モクハチフ（目八譜）一七六
モクカウヨヒツ（目耕餘筆）一四三
モミヂジセツ（樠字說）一九一
モンゼン（文選）一三

セ

セイカツロク（製葛錄）一五五
セイヨウイジシウセイホウカン（西洋醫事集成寶函）一四六
セイヤセンプ（西洋錢譜）一一二
セイヤウキブン（西洋紀聞）六三、六四
セイケイヅセツ（成形圖說）一三二、一五九、一六三、一六六
セイエイホンサウ（精英本草）二三
セイミカイソウ（舍密開宗）一七一、一六八
セイユロク（製油錄）一六六
セイセツボタニカキヤウ（西說菩多尼詞經）一四七
セイセツワンシヤウキヤウ（西說觀象經）一四七
セイセツテンモンガク（西說天文學）四三、四七、四九、六六、一二六
セカイノヅ（世界之圖）四二、三三
セツヨウホンサウ（節用本草）二一
セツモンチヤウセン（說文長箋）九〇
セウフラウサウナヨセ（小不老草名寄）一六〇
セウヒンカウ（小品考）一九二
セウガクトウビカウ（小學句讀備考）五一
セウセキヘン（硝石篇）一八九
セウセキセイザウベン（硝石製造辨）一九〇
セキナンロク（責難錄）一七〇
セキケントウカウ（石劍頭考）一〇六
セキメンロン（石綿論）一四八
センチウミヤウシヤウ（鑒註和名鈔）一五二
センチウフ（千蟲譜）一三九
センダイハンサンブツモクロク（仙臺藩產物目錄）八七
センクハオウデン（剪花翁傳）一八六
センキンオウ（千金方）一八
センキンパウヤクチウ（千金方藥註）一〇八
センミンロク（贍民錄）一六八

センジルキカフ（千字類合）　五七
センショ（饌書）　一七六
センシュンサイギョヒン（占春齋魚品）　一三七、一六三
センジモン（千字文）　五
ゼンシンシヤクメイ（全身釋名）　一五六
ゼンセイダウヤクソ（繕生堂藥疏）　一七〇
センセンゲン（詹々言）　九三

ス

ズイトキダン（端兎奇談）　一九七
ズイチショセイサウヒンヅセツ（隨地所生草品圖說）　一七七
スイリクライチヤウノセツ（水陸雷鳥之說）　八五
ズイクロンシヤシン（隨觀寫眞）　一〇四、一六八
スイゾクシ（水族志）　一九三、一七一
スイゾクシヤシン（水族寫眞）　一九二
スイサウシキ（水草識）　一四一、一六二
スンシウシシウサイヤクキ（駿州志州採藥記）　一三二

索引終

日本博物學年表正誤

丁	行	誤	正	丁	行	誤	正
八	一一	牛鳥ハ	牛馬	六一	四	一乘寺ハ	一乘寺村
一二	四	復役ハ	後役	六四	九	Exotumarum ハ	Exoticarum
一三	二	爾文選ハ	爾雅文選	八七	一二	或門ハ	或問
一三	四	讀雅ノ雅ハ	衍	八八	三	經濟纂ハ	經濟纂要
一三	一〇	藥物ノ下ヲ	ヲ脫ス	九五	一四	僞名ハ	僞作
一五	一	石鐘乳ハ	石鍾乳	一二七	四	若干卷ノハ	若干卷
二〇	七	理解スルカ爲ハ	理解スル上ヨリ	一三〇	一	劉奴ハ	劉寄奴
三七	三	奉多ハ	本多	一四一	一五	（腊葉）ハ	（腊葉）アリ
四一	一三	西曆一六二九ハ	西曆一六二六	一四二	九	測量ハ	測量方
四二	六	昕タハ	昕夕	一五六	一四	談々舍ハ	淡々舍
四五	一二	死者海內ハ	死者道路	一七六	四	貝八譜ハ	目八譜

明治四十一年二月七日印刷
明治四十一年二月十日發行

定價
本綴 壹圓貳拾錢
假綴 壹圓

著作權所有

著作兼發行者 東京府士族 白井光太郎
東京市赤坂區青山南町六丁目六十七番地

印刷者 野村宗十郎
東京市京橋區築地三丁目十一番地

印刷所 株式會社東京築地活版製造所
東京市京橋區築地二丁目十七番地

賣捌所 丸善株式會社書店
東京市日本橋區通三丁目十四、五番地

同 書肆文淵堂
東京市淺草區北東仲町五番地

白井氏著述目錄

日本博物學年表

全壹冊　定價　金七拾錢

明治廿四年二月十三日出版　和裝半紙本　紙數八十六枚

增訂日本博物學年表

全壹冊　定價　本綴金壹圓貳拾錢　假綴金壹　圓

明治四十年一月出版　洋裝四六版　本草名家肖像入　本文二百十九頁別ニ書名、動植物及金石索引四十頁附刻版ハ一頁十二行二十四字詰　增訂版ハ一頁十七行三十七字詰ナレバ前版ニ比スレバ其實質ニ於テ四倍ヲ增加セルモノナリ

植物博物館及植物園の話

全壹冊　定價　金四拾錢

明治三十六年四月出版　半紙版　洋裝頁數一〇五丁　圖入

此書ハ著者我邦ニ完全ナル植物園及植物博物館ヲ見ザルヲ慨シ海外植物園及博物館ノ狀況ヲ詳述シテ其必要ヲ絕叫セルモノナリ

日本菌類目錄

全壹冊　定價　金五拾錢

四六版　本文百二十四頁別ニ三十頁　我邦所産ノ菌類一千二百餘ノ學名、和名、寄主、海外分布等ヲ注記シタルモノニシテ菌學、植物病理學等ニ志ス學生ノ參考ニ資センガ爲ニ一頁毎ニ白紙ヲ挿ミ以テ書キ入レチ爲スニ便セリ

增訂日本菌類目錄

全壹冊　近刻

植物自然分科檢索表

第七版　定價　金拾貳錢

日本樹木名彙幷識別表

全壹冊　近刻

Shirai

A Chronological Table of Natural History in Japan.